

阿南社会福祉会館改修工事のう ち 管工事

Nb	Ti t l e	Scal e	Nb	Ti t l e	Scal e
M 01	機械設備共通仕様書1	NON	M 11	1・2階便所給排水設備図（改修前・改修後）	1: 50
M 02	機械設備共通仕様書2	NON	M 12	4・5階便所給排水設備図（改修前・改修後）	1: 50
M 03	機械設備共通仕様書3	NON	M 13	換気設備立面図機器表（改修前・改修後）	NON
M 04	機械設備特記仕様書1	NON	M 14	1階空調換気設備図（改修前・改修後）	1: 100
M 05	機械設備特記仕様書2	NON	M 15	2階空調換気設備図（改修前・改修後）	1: 100
M 06	機械設備特記仕様書3	NON	M 16	1階空調制御設備図（改修前・改修後）	1: 100
M 07	和風便器改修工法、立管系統図、器具表（改修前・改修後）	1: 30	M 17	2階空調制御設備図（改修前・改修後）	1: 100
M 08	1階給排水設備図（改修前・改修後）	1: 100			
M 09	2階給排水設備図（改修前・改修後）	1: 100			
M 10	4～5階給排水設備図（改修前・改修後）	1: 100			

1. 工事概要

1. 工事名称	阿南社会福祉会館改修工事のうち管工事																
2. 工事場所	阿南市富岡町今福寺																
3. 建物概要	<table><tr><td>建物名称</td><td>阿南社会福祉会館</td></tr><tr><td>構造・規模</td><td>鉄筋コンクリート造 地上5階</td></tr><tr><td>敷地面積</td><td>494.70 (㎡)</td></tr><tr><td>延床面積</td><td>1,309.97 (㎡)</td></tr><tr><td>消防法施行令別表第1の区分</td><td>16項イ</td></tr></table>	建物名称	阿南社会福祉会館	構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階	敷地面積	494.70 (㎡)	延床面積	1,309.97 (㎡)	消防法施行令別表第1の区分	16項イ						
建物名称	阿南社会福祉会館																
構造・規模	鉄筋コンクリート造 地上5階																
敷地面積	494.70 (㎡)																
延床面積	1,309.97 (㎡)																
消防法施行令別表第1の区分	16項イ																
4. 工事種目	<table><tr><th>種目</th><th>工事概要</th></tr><tr><td>衛生器具設備工事</td><td>図示衛生器具の改修工事一式</td></tr><tr><td>給水設備工事</td><td>図示給水配管の改修工事一式</td></tr><tr><td>給湯設備工事</td><td>図示給湯配管の改修工事一式</td></tr><tr><td>排水設備工事</td><td>図示排水配管の改修工事一式</td></tr><tr><td>空調設備工事</td><td>図示空調機器の改修工事一式</td></tr><tr><td>換気設備工事</td><td>図示換気機器の改修工事一式</td></tr><tr><td>撤去工事</td><td>図示位置の不要なる器具・配管等の撤去工事一式</td></tr></table>	種目	工事概要	衛生器具設備工事	図示衛生器具の改修工事一式	給水設備工事	図示給水配管の改修工事一式	給湯設備工事	図示給湯配管の改修工事一式	排水設備工事	図示排水配管の改修工事一式	空調設備工事	図示空調機器の改修工事一式	換気設備工事	図示換気機器の改修工事一式	撤去工事	図示位置の不要なる器具・配管等の撤去工事一式
種目	工事概要																
衛生器具設備工事	図示衛生器具の改修工事一式																
給水設備工事	図示給水配管の改修工事一式																
給湯設備工事	図示給湯配管の改修工事一式																
排水設備工事	図示排水配管の改修工事一式																
空調設備工事	図示空調機器の改修工事一式																
換気設備工事	図示換気機器の改修工事一式																
撤去工事	図示位置の不要なる器具・配管等の撤去工事一式																
5. 猛暑を考慮した工期	本工事は猛暑を考慮した工期設定の対象外工事である。 猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。 (1)作業不能日数：0日間 (2)観測地点：環境省が公表する四国地方_徳島_蒲生田地点 (3)気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数（当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する四国地方_徳島_蒲生田地点におけるWBG値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉鎖した時間を算定し、日数に換算したもの（小数点以下第一位を四捨五入する。））が(1)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。 (4)作業不能日数の計算は「営繕工事における猛暑および熱中症対策に係る試行要領（案）」による。																

Ⅱ. 共通仕様書

- (1)項目は、番号に○印が付いたものを適用する。
(2)特記事項は、○印が付いたものを適用する。◎は総て適用する。

章	項 目	特 記 事 項
一 章 共 通 事 項	① 適用基準	◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の下記による。 ・公共建築工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（以下「標仕」という。） ・公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版 ・公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和4年版 ・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編） 令和4年版（以下「改標仕」という。） ・公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） 令和4年版 ・公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） 令和4年版 ・公共建築木造建築工事標準仕様書 令和4年版 ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）・同解説 令和5年版 ・建築工事標準詳細図 令和4年版（以下「標準図」という。） ・公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） 令和4年版 ・公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） 令和4年版 ・敷地調査共通仕様書 令和4年改定 また、次の図書（国土交通大臣官房官庁営繕部監修）を参考とする。 ①建築工事監理指針 令和4年版（以下「監理指針」という。） ②建築改修工事監理指針 令和4年版 ③電気設備工事監理指針 令和4年版 ④機械設備工事監理指針 令和4年版
	② 優先順位	◎設計図書の優先順位は、次の順とする。 ①質問回答書（②から⑤に対するもの） ②補足説明書 ③特記仕様書（共通仕様書を含む） ④図面 ⑤公共建築工事標準仕様書等
	③ 工事実績データの登録	(1)受注者は、請負代金額が500万円以上の工事については受注・変更・しゅん工・訂正時に、工事実績情報サービス（コリンズ）に基づき、工事実績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員に提出して内容の確認を受けた上、次の期限までに登録機関に登録しなければならない。 (a) 受注時は、契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (b) 登録内容の変更時は、変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (c) しゅん工時は、工事しゅん工承認後、土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内とする。 (d) 訂正時は、適宜とする。 なお、変更登録は工期、技術者に変更が生じた場合に行うものとし、請負代金額のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。 (2)受注者は、実績登録完了後、登録機関発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、速やかに監督員に提示しなければならない。 なお、変更時としゅん工時の間が14日間に満たない場合は、変更時の提示を省略できる。

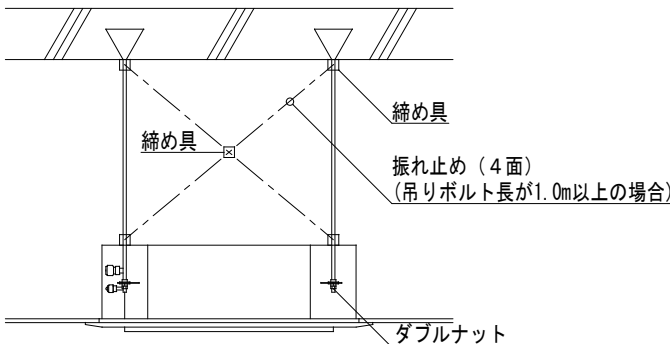
章	項 目	特記事項
	④ 工程表	◎受注者は、契約書に基づく工程表を契約締結後14日（土曜日、日曜日、祝日等を除く。）以内に提出すること。
	⑤ 工事の着手	◎受注者は、設計図書に定めのある場合、又は特別の事情により発注者の承諾があった場合を除き、工事開始日以降30日以内に工事に着手しなければならない。なお、工事開始日とは、契約書に明示した着工の日（特記仕様書において着工の日を別に定めた場合にあっては、その日）をいう。
	⑥ 施工計画書等	◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書並びに施工図等を作成し、監督員に提出し、監督員の承諾を受けること。 ◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。 ◎施工図、現寸図、見本等を、工事の施工に先立ち作成し、監督員の承諾を受けること。
	⑦ 下請負人の選定	◎受注者は、本工事の一部を下請に付する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有した者を選定すると共に、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額（設計金額）が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合には、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。 ◎受注者は、本工事の全部若しくは一部について、指名停止期間中の有資格業者と下請契約を締結してはならない。（なお、有資格業者とは、建設工事の請負契約に係る一般競争入札及び指名競争入札参加資格審査要綱第5条の規定により参加資格の認定を受けた者をいう。） ◎受注者は、下請契約を締結するときは、下請負に使用される技術者、技能労働者等の賃金、労働時間その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境が適正に整備されるよう、市場における労務の取引価格、保険料等を的確に反映した適正な額の請負代金及び適正な工期等を定める下請け契約を締結しなければならない。
	⑧ 施工体制台帳及び施工体系図	(1)施工体制台帳の作成 受注者は、下請契約（以下の③及び④の場合を含む。）を締結した場合は、施工体制台帳及び再下請負通知書（以下「施工体制台帳」という。）を自らの責任において作成・保存するとともに、施工体制台帳を工事現場に備置かなければならない。 (2)施工体系図の作成及び揭示 受注者は、下請契約（以下の③及び④の場合を含む。）を締結した場合は、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律に従って、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げなければならない。 (3)警備業者の記載 受注者は、交通誘導警備員を配置するときは、警備業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (4)運搬業者の記載 受注者は、土砂等を運搬する大型自動車を配置するときは、運搬業者を含めて施工体制台帳及び施工体系図を作成・保存しなければならない。 (5)施工体制台帳及び施工体系図の提出 受注者は、施工体制台帳の写し及び施工体系図の写しを、下請契約を締結したときは下請契約日から、内容に変更が生じたときは変更が生じた日から、いずれも土曜日、日曜日、祝日等を除き14日以内に監督員に提出し、確認を受けなければならない。 ただし、提出日について、監督員が承諾したときはこの限りではない。 (6)再下請負通知書を提出する旨の書面の揭示 受注者は、再下請負通知書を提出する旨の書面を、工事現場の公衆が見やすい場所に掲示しなければならない。
	⑨ 電気保安技術者等	◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けること。 ・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 ・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。 ◎工事用電力設備の保安責任者を関係法令に従って有資格者を定め、監督員に報告すること。

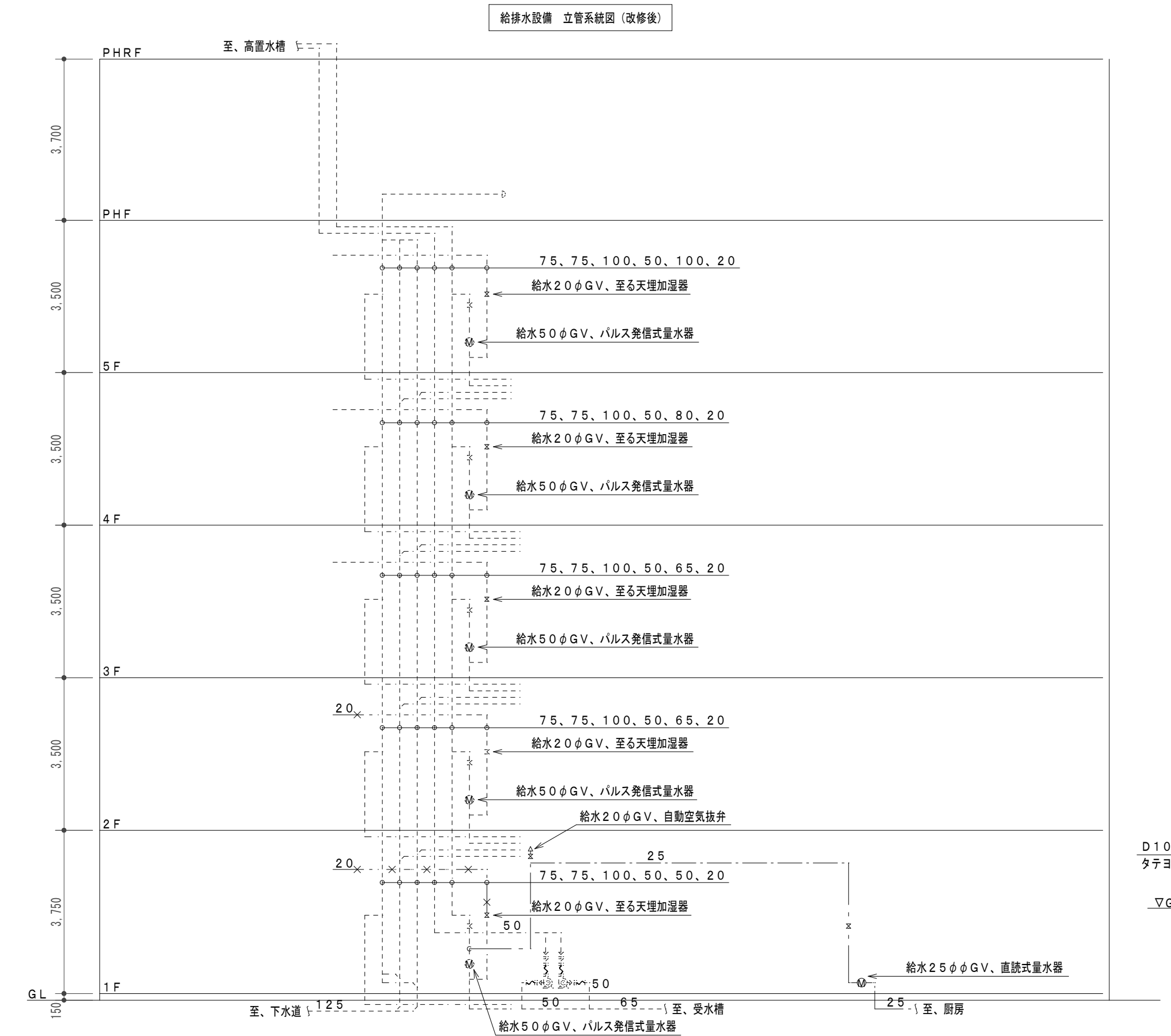
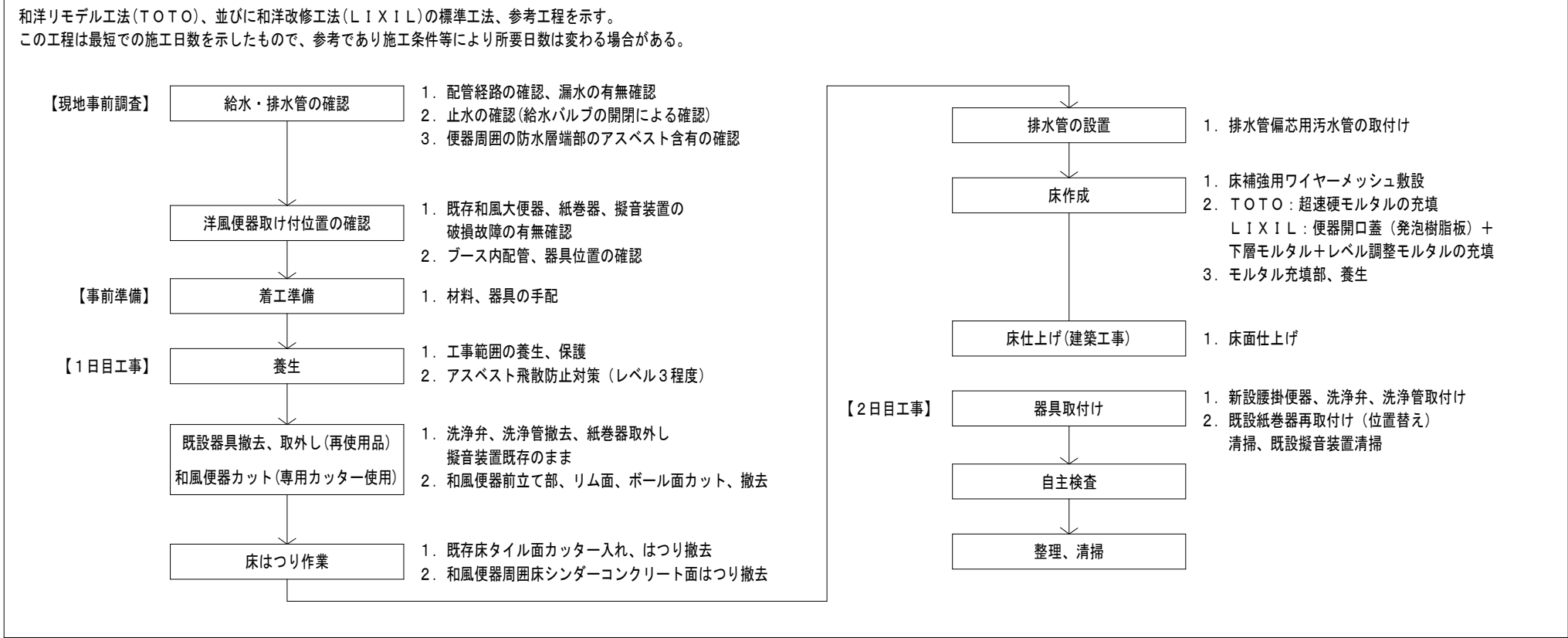
章	項 目	特記事項
	⑩ 施工中の安全確保	◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分に周知・徹底すること。 ◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること。 ◎工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令等に従って行うこと。 ◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱（令和元年9月2日付け国土交通省告示第496号）、建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第3号、平成14年5月30日改正）その他関係法令に従い適切に処理すること。 ◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について、工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。 ◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として、試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。 ◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、直ちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう、受注者の負担でその都度、補修又は補償すること。 ◎受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み作業（ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。）又は貨物自動車から下ろす作業（ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。）を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。
		◎受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から下ろす作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。
		◎受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。
		◎受注者は、トラック（クレーン装置付）を使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置、ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない。なお、使用できない場合は事前に監督員と協議を行うこと。
		◎休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。 ◎受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い、安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」（任意様式）の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。 ◎受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「現場安全再確認シート（任意様式）」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎上下作業や直下階の施設を利用しながらの直上階（天井）のスラブはつり工事は、原則禁止とする。やむを得ず行う場合は、飛来落下の危険を生じるおそれがあるため、適切な防護措置を講じ安全確保を回り、施工手順について監督員の承諾を得たうえで、指定された時間に行うこと。
		◎受注者は、足場を設置する場合は組立、解体時において、作業前に施工手順を確認し、倒壊や資材落下に対する措置を講じなければならない。特に、飛来落下の恐れのある巾木やメッシュシート等の資機材については、足場の上に置きせず、設置又は荷下ろしするまでは、番線等により固定を行うこと。また、強風、大雨、大雪等の悪天候のため、作業の実施について危険が予想されるときは、作業を中止すること。
		◎作業にあたって労働災害、公衆災害の事故リスクと対応方法について監督員と協議すること。 ◎事故により、停電、断水等が発生することを考慮し、施設休業日に作業するなど、作業日を施設管理者と協議すること。 ◎給水管近傍の作業で給水管を破損する恐れがある場合は、給水バルブの止水状況を確認するとともに、事故による漏水に備えて直下階や近傍の重要備品について養生や移設について協議すること。
		◎受注者は、工事施工途中に工事的目的物や工事材料等の不具合等が発生した場合、または、公益通報者等から当該工事に関する情報が寄せられた場合には、その内容を監督員に直ちに通知しなければならない。 ◎当該工事が分離発注の工事においては、受注金額が最も高い受注者を「統括安全衛生管理義務者」に選任するものとする。（労働安全衛生法第30条第2項）

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項
⑪ 撤去時の資機材残置の防止	◎足場撤去の際は、工事箇所周辺に資機材が残っていないか点検したうえで、撤去を行うこと。	⑭ 材料・製品等	◎本工事に使用する建築材料、設備機材等（以下「建材等」という）は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとする。 ◎受注者は、建材等の発注の際には、発注前に、品質及び性能に関して記載された工種別施工計画書及びその証明となる資料を監督員へ提出しなければならない。ただし、設計図書に定めるJIS又はJASの材料で、JIS又はJASのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督員の承諾を受けた場合は、この限りでない。 なお、各専門特記仕様書中、「評価名簿による」と記載されているものは、一般社団法人公共建築協会発行の「建築材料等評価名簿（最新版）」及び「設備機材等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。 ◎県産木材の原則使用 (1)受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。 (2)「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 (a) 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 (b) (a)以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材 (3)受注者は、請負代金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。 (4)受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証証明書」の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。 (5)県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。 ◎製材等（製材、集成材、合板、単板積層材）、フローリング、再生木質ボード（パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板）については、合法性に係る確認（「産地認証」及び「品質認証」を含む。）が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン（平成18年2月15日）」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。 ◎標仕等に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。 ◎県内産資材の原則使用 (1)受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。 (2)受注者は、木材以外の建設資材について、県内産資材であることの別を施工計画書に記載するものとする。 ――また、請負代金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を施工計画書に記載すると共に、確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。―― 県内産資材（次のいずれかに該当するもの） (1) 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 (2) 徳島県内の工場で加工、製造された製品 注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品（二次製品）であれば県内産資材として取り扱う。 注2 県内企業が県外に立地した工場（自社工場）で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。 注3 公共建築工事標準仕様書その他関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。 ◎県内企業調達建材等の優先使用 受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等（以下、「県内企業調達建材等」という。）を優先して使用するよう努めなければならない。また、県内企業調達建材等の別を工種別施工計画書に記載するものとする。 なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を工種別施工計画書に記載し、監督員の承諾を得なければならない。 ◎県内産再生砕石の原則使用 受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設（廃棄物の処理及び清掃に関する法律（昭和45年法律第137号）第15条第1項に基づく許可を有する施設（同法第15条の2の6第1項に基づく変更の許可において同じ。））で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。 ◎アスファルト舗装の材料 受注者は、加熱アスファルト混合物を使用するときは、原則として、「徳島県土木工事用生アスファルト合材の品質審査要綱」に基づき工場認定を受けた県内の工場から出荷された合材を原則として使用しなければならない。		
⑫ 交通安全管理	◎輸送災害の防止 受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導警備員の配置、標識、安全施設等の設置場所、その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。 特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件及びその位置と必要な措置について、工事着手前に監督員に報告しなければならない。 ◎過積載による違法運行の防止 受注者は、過積載による違法運行の防止に関し、特に、次の事項について留意し、下請負業者を指導すること。 ・積載重量制限を超えた土砂等の積込みは行わないこと ・さし枠装備車、不表示車は使用しないこと ・過積載車両、さし枠装備車、不表示車から土砂等の引き渡しを受けないこと ・建設発生土の処理及び骨材の購入に当たっては、下請事業者及び骨材納入業者の利益を不当に害さないこと ・過積載による違法通行により、逮捕または起訴された建設業者は、指名停止措置を講ずる場合がある				
⑬ 発生材の処理等	◎発生材の処理等は、次により適正に行う。 (1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び価値材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。 (2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図書に表示のないものについては、監督員に報告し指示を受けること。 (3) 産業廃棄物の種類ごとの処分場については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「産業廃棄物の処理」又は「発生材の処理等」による。 (4) 建設発生土の処理については、各専門特記仕様書の1章一般共通事項「建設発生土の処理」による。 (5) 解体前に、照明器具、変圧器及び進相コンデンサのPCBの有無を調査し、あれば、監督員の指示に従うこと。 (6) 空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律を始めとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。 (7) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調書（様式3）、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェストA票及びD票またはE票）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調書を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。 ◎アスベスト (1) 解体前に大気汚染防止法に基づくアスベスト等の特定建築材料に該当するものが使用されていないか調査し、あれば監督員の指示に従うこと。既存の分析調査結果がある場合は、受注者がその結果を書類等により確認すること。なお、工事内容に変更がある場合においても同様とする。 既存の分析調査結果の貸与（あり・なし）。 (2) 事前調査を公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）1.5.1及び大気汚染防止法により行うこと。 ・調査結果を石綿事前調査結果報告システムにより、労働基準監督署及び自治体に報告すること。監督員へも結果を提出するとともに、その写しを工事の現場に備え置くこと。 ・調査結果は3年間保存すること。 ・調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示すること。 ・分析によりアスベスト含有調査を行う場合は、JIS A 1481-Iによること。 (3) 表示、掲示は次のとおり行うこと。 ・事前調査結果の概要を公衆が見やすい場所に掲示する。 ・「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を労働者及び周辺住民の見やすい場所に掲示する。 ・作業に従事する労働者への注意事項を見やすい場所に掲示する。 ・喫煙及び飲食の禁止並びに関係者以外の立入禁止について、作業場の見やすい箇所に掲示する。 ◎建設リサイクル法通知済証の掲示 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手日までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかななければならない。 ――また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全量写真は電子納品の対象書類とし、――「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出すること。――なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。				

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項	
15 化学物質を発散する建築材料等	◎本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (2)保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (3)接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (4)塗料（塗り床を含む）は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。 (5)(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。	19 工事看板等	◎工事現場には、工事看板を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。 ◎工事標識板を、工事現場の第三者に見えやすい場所に設けること。また、記載内容は下記の項目を含むものとする。 ・記載内容（あななん及びイラスト付き、工事名、発注者、受注者、工事内容、工事期間、安全啓発など） ・工事種別が複数となる場合は、工事金額が最大の受注者が作成すること。 ◎受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた本製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を購入した場合、受注者は、工事完了後「任意仮設における県内産木材購入実績報告書」を監督員へ任意で提出すること。 ◎受注者は、監督員から渡される「技能労働者への適切な賃金水準の確保等に関するポスター（A3）」を現場関係者が見やすい場所に掲げるとともに、掲示状況を工事写真として提出しなければならない。ただし、次のいずれかに該当する工事は対象外とする。 (1)区画線工事、舗装工事、標識設置工事、照明灯工事 (2)当初請負金額が200万円未満の工事	一章 一般共通事項	24 デジタル工事写真の小黑板情報電子化	◎受注者は、デジタル工事写真の小黑板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の小黑板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。 ◎対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の小黑板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。
16 施工	◎設計図書に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、横仕記載の「疑義に対する協議等」による。 ◎工事現場に監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は阿南市産業部商工戦略課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。 ◎品質管理は、適切な時期に品質計画に基づき、確認、試験又は検査を行うこと。結果が管理値を外れるなど疑義が生じた場合は、品質計画にしたがって適切な処理を施すこと。また、その原因を検討し、再発防止のための必要な処置をとること。 ◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。 ◎本工事の施工及び管理にあたり法規上必要となる有資格者については、工事着手前に資格者名簿及びその証明書類等を監督員に提出すること。 ◎設計図書（各施工計画書を含む）に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと。 ◎試験等によらなければ確認できない工事（製品）については、試験等計画書（施工計画書に記載）を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。	20 仮設トイレ	◎受注者は仮設トイレを設置する場合、次のとおりとしなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りではない。 ・当初請負対象金額（設計金額）3千万円未満の工事 原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快通トイレ）」を設置しなければならない。 ・当初請負対象金額（設計金額）3千万円以上の工事 原則として「快通トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快通トイレ）」を設置しなければならない。 ＝受注者は、仮設トイレを設置した場合＝「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 (注) 洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 (注) 快通トイレとは、洋式トイレのうち、防災対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。	25 火災保険	◎火災保険 本工事の着手に際し、火災保険等（火災保険、建設工事保険その他の保険（これに準ずるものを含む。））を請負額に応じて付保する。（標準請負契約約款 第55条） (1)対象物 工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）について付保する。 (2)付保険外工事 次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。 ・杭及び基礎工事 ・コンクリート躯体工事 ・屋外付帯工事 ・その他実状を判断のうえ必要がないと認めた場合（外壁補修工事等） (3)付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。 (4)保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。なお、工期延伸した場合には保険の期間も延長する。 (5)その他 ・付保する時期以降に出来高払を行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払の書類に添付する。 ・建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。	
17 建設機械等	◎排出ガス対策型建設機械 本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号最終改正平成14.4.1国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査・証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。 ◎低騒音・低振動型建設機械 本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程（国土交通省告示平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。 ◎特定自主検査 本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）の写しを使用工種の施工計画書に添付し提出すること。 ◎不正軽油の使用禁止 受注者は、ディーゼルエンジン仕様の車両及び建設機械等を使用する場合は、地方税法（昭和25年法律第226号）に違反する軽油等を燃料として使用してはならない。また、受注者は、県の徴税吏員が行う使用燃料の採取調査に協力しなければならない。	21 設計変更箇所確認	◎設計事務所による工事監理がある場合、受注者は、工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について、監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること。 また、工事しゅん工前には全ての設計変更箇所及び内容を監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること。 ◎次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。	26 公共事業労務費調査	(1)当初請負対象金額（設計金額）が税込1,000万円以上の工事において、公共事業労務費調査の対象工事となった場合は、受注者は、調査票等に必要事項を正確に記入し調査団体に提出する等、必要な協力を行わなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 (2)調査票等を提出した事業者を調査団体が事後に訪問して行う調査・指導の対象になった場合、受注者は、その実施に協力しなければならない。また、本工事の工期経過後においても、同様とする。 (3)公共事業労務費調査の対象工事となった場合に正確な調査票等の提出が行えるよう、受注者は、労働基準法等に従って就業規則を作成すると共に賃金台帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行っておかなければならない。 (4)受注者が本工事の一部について下請契約を締結する場合には、受注者は、当該下請工事の受注者（当該下請工事の一部に係る二次以降の下請人を含む）が前述と同様の義務を負う旨を定めなければならない。	
18 遠隔臨場の試行	◎受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円未満の場合において、遠隔臨場の実施を希望する場合は、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を実施することができる。 ◎受注者は、当初請負対象金額（設計金額）が税込7千万円以上の場合において、「営繕工事の遠隔臨場に関する試行要領」に基づき遠隔臨場を試行しなければならない。	22 工事検査及び技術検査	◎中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し、施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。 ◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。 ◎外壁改修工事等において、足場が撤去される前に、足場解体前中間検査を実施すること。 ◎2.4.5階の便所改修完了後、部分使用検査を実施し、引渡しを行うこと。	27 暴力団等からの不当要求又は工事妨害の排除	(1)受注者は、工事の施工に關し、暴力団等からの不当要求又は工事妨害（以下「不当介入」という。）を受けた場合（（2）に規定する場合は、下請負人から報告があったとき）には、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、併せて所轄の警察署に届け出なければならない。 (2)受注者は、本工事の一部を下請に付する場合、下請工事の施工に關して下請負人が暴力団等からの不当介入を受けたときは、受注者にその旨を報告することを義務付けしなければならない。 (3)受注者は、発注者及び所轄の警察署と協力して不当介入の排除対策を講じなければならない。 (4)受注者は、排除対策を講じたにもかかわらず、工期に遅れが生じるおそれがある場合には、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期内に工事が完成しないと認められる場合は、「阿南市公共工事標準請負契約約款」（以下「約款」という。）第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。 (5)受注者は、暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出しなければならない。 (6)受注者は、前項被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行い、その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第22条の規定により、発注者に工期延長の請求を行わなければならない。	
		23 完成図等	◎電子納品：対象外 ◎受注者は、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査・設計・工事など各業務段階の最終成果を電子成果品として納品（以下「電子納品」という。）すること。 ◎提出書類 ・しゅん工図（製本3部、電子データ1部）（サイズ：A2 2部、A3 1部） ・工事写真（写真帳1部（着手前及び完成写真）、電子データ1部） ・使用材料一覧表（1部（うち1部は竣工図表紙裏面に貼付）、電子データ1部） ・保全に関する資料 ・阿南市建築工事様式集で監督員が指示した図書（必要部数） ◎しゅん工図は関係図面（データ貸与）を修正して作成すること。 しゅん工図データは、関係図面（データ貸与）を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-R等に保存する。 ◎工事写真の電子データは完成写真、着手前、資機材、施工状況の順に整理する。 完成写真については、工事目的物の状態が、資機材、施工状況等については、不可視部分の出来形が写真で的確に確認できること。 ◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。 ◎工事完成撮影は、別途指定がある場合を除き、専門家によらないものとする。 ◎既存埋設管等の状況について、現場と図面の相違が発覚した場合は、竣工図に反映させること。	28 事故報告書	◎受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡する。また、監督員が指示した場合及び建設工事事故データベースシステムの登録対象となる事故の場合、監督員が定めた期日までに、事故報告書を提出し、建設工事事故データベースシステムに、事故に関する情報を登録する。	

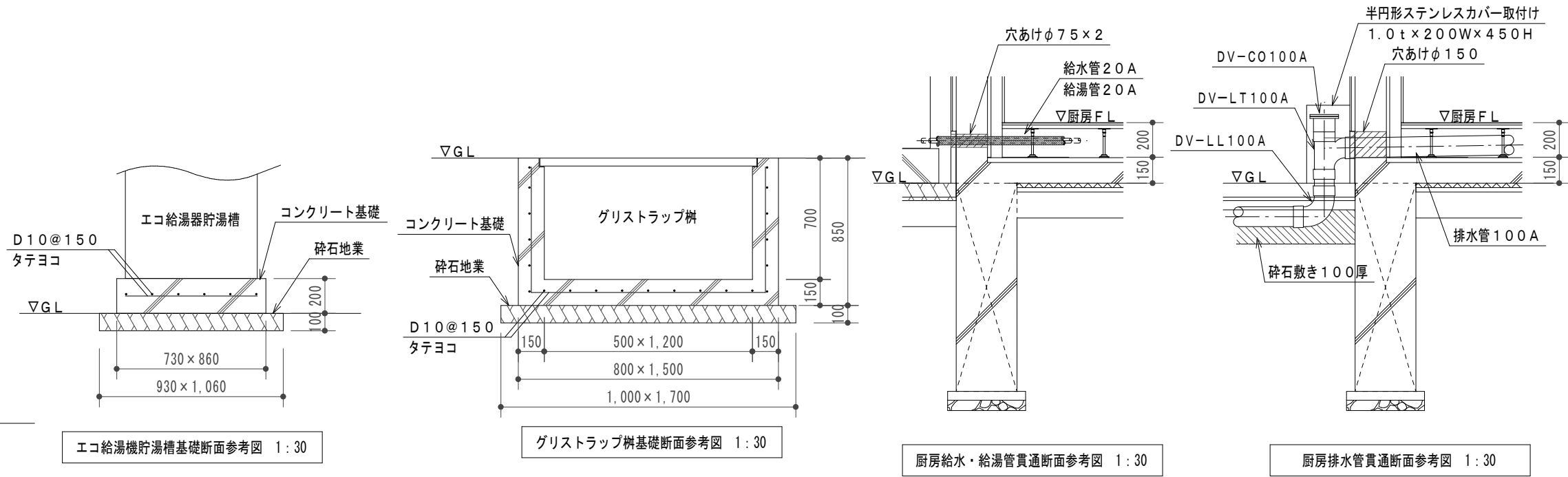
章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
10	耐震施工	◎設備機器の固定は、施設の分類並びに機器の種類、重要度及び設置階に応じて、次の設計用水平地震力及び設計用鉛直地震力に対し、移動、転倒、破損等が生じないようにする。 なお、施工に先立ち、耐震計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。 ・設計用水平地震力 機器の重量（kN）に、地域係数及び設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、設計用標準水平震度は、特記なき場合は下表による。 ・設計用鉛直地震力 設計水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 ・施設の分類、地域係数 ・施設の分類（ ・ 特定の施設 ・ 一般の施設 ） ・地域係数（ ・ 1.0 ・ 0.9 ） ・重要機器 ・給水機器（ ） ・ 排水機器（ ） ・ 換気機器 ・ 空調機器 ・ 熱源機器 ・防災設備 ・ 監視制御装置 ・ 危険物貯蔵装置 ・ 火を使用する設備 ・ <table><tr><th colspan="2">設計用標準水平震度</th><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th>設置場所</th><th>機器種別</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr><tr><td rowspan="3">上層階、 屋上及び塔屋</td><td>機 器</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>2.0</td><td>1.5</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td rowspan="3">中層階</td><td>機 器</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td rowspan="3">1階及び地下階</td><td>機 器</td><td>1.0</td><td>0.6</td><td>0.6</td><td>0.4</td></tr><tr><td>防振支持の機器</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>水 槽 類</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr></table> (注) ・上層階の定義は次のとおりとする。 2～6階の場合は最上層、7～9階の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、 13階以上の場合は上層4階 ・水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎質量100kg以下の軽量な機器（標仕の適用を受けるものは除く）の取付については、機器製造者の指定する方法で確実に取付けを行うものとし、特に計算を行わなくともよい。 ◎横引き配管等の耐震支持は、施設の分類に応じたものとする。	設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設		設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0	中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6	16	仮設工事	◎既存電気設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、電力料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存機械設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、用水料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。 ただし、施設管理者と協議すること。 ・同用地は、（ 図示の場所に ○ 用意していないので業者にて ）設けること。 ・同用地に対する借地借家料を（ ）円見込んでいる。 ・交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。 ・警備員は、延〇人(屋〇人、夜〇人：うち検定合格警備員〇人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。 ◎足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する ○ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。 ・外部足場（西面、南面、PH階北面以外） (種類：次世代足場、仕様：2枚布、D=90cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（東面） (種類：次世代足場、仕様：1枚布、D=60cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) (種類：単管本足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（北面） (種類：プラケット足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・内部足場（1、2階店舗） (種類：脚立足場) ※足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ・内部足場（種類： ，仕様： 枚布、D= cm） ◎配管材料については、次表による。 <table><tr><td rowspan="4">給水管 (地中埋設部)</td><td>○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6742)</td><td>H1VP</td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>水道用ポリエチレン二層管</td><td>(JIS K 6762)</td><td>①W又は②W</td></tr><tr><td rowspan="4">排水・通気管</td><td>水道配水用ポリエチレン管</td><td>(JWWA K 144)</td><td>(EF継手)</td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(WSP 042)</td><td>DVLP</td></tr><tr><td rowspan="4">排水管 (地中埋設部)</td><td>耐火二層管 (内管V P)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>リサイクル硬質塩化ビニル三層管</td><td>(JIS K 9797)</td><td>RS-VU</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">給湯管 (地中埋設部)</td><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6769)</td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">消火管 (地中埋設部)</td><td>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</td><td>(WSP 041)</td><td>SGP-VS</td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>ポリエチレン被覆鋼管</td><td>(JIS G 3469)</td><td>原管はJIS G 3452</td></tr><tr><td>ガス用ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6774)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">冷媒管 (地中埋設部)</td><td>○ 冷媒用断熱材被覆鋼管</td><td>(JCDA 0009)</td><td>ポリエチレン保温材 (難燃性)</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)</td></tr><tr><td>結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)</td><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>一般配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3448)</td><td></td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>蒸気 (往)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>蒸気 (復)</td><td>圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)</td><td>(JIS G 3454)</td><td>STPG370</td></tr><tr><td rowspan="2">油・油用通気 (地中埋設部)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。	給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W	排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP	排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)		配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)		冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管			配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)	膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370	油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP				17	配管工事	◎既存電気設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、電力料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存機械設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、用水料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。 ただし、施設管理者と協議すること。 ・同用地は、（ 図示の場所に ○ 用意していないので業者にて ）設けること。 ・同用地に対する借地借家料を（ ）円見込んでいる。 ・交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。 ・警備員は、延〇人(屋〇人、夜〇人：うち検定合格警備員〇人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。 ◎足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する ○ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。 ・外部足場（西面、南面、PH階北面以外） (種類：次世代足場、仕様：2枚布、D=90cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（東面） (種類：次世代足場、仕様：1枚布、D=60cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) (種類：単管本足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（北面） (種類：プラケット足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・内部足場（1、2階店舗） (種類：脚立足場) ※足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ・内部足場（種類： ，仕様： 枚布、D= cm） ◎配管材料については、次表による。 <table><tr><td rowspan="4">給水管 (地中埋設部)</td><td>○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6742)</td><td>H1VP</td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>水道用ポリエチレン二層管</td><td>(JIS K 6762)</td><td>①W又は②W</td></tr><tr><td rowspan="4">排水・通気管</td><td>水道配水用ポリエチレン管</td><td>(JWWA K 144)</td><td>(EF継手)</td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(WSP 042)</td><td>DVLP</td></tr><tr><td rowspan="4">排水管 (地中埋設部)</td><td>耐火二層管 (内管V P)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>リサイクル硬質塩化ビニル三層管</td><td>(JIS K 9797)</td><td>RS-VU</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">給湯管 (地中埋設部)</td><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6769)</td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">消火管 (地中埋設部)</td><td>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</td><td>(WSP 041)</td><td>SGP-VS</td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>ポリエチレン被覆鋼管</td><td>(JIS G 3469)</td><td>原管はJIS G 3452</td></tr><tr><td>ガス用ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6774)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">冷媒管 (地中埋設部)</td><td>○ 冷媒用断熱材被覆鋼管</td><td>(JCDA 0009)</td><td>ポリエチレン保温材 (難燃性)</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)</td></tr><tr><td>結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)</td><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>一般配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3448)</td><td></td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>蒸気 (往)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>蒸気 (復)</td><td>圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)</td><td>(JIS G 3454)</td><td>STPG370</td></tr><tr><td rowspan="2">油・油用通気 (地中埋設部)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。	給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W	排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP	排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)		配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)		冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管			配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)	膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370	油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP				18	保温・塗装工事	・ステンレス鋼管の接合方法は、呼び径60Su以下の継手はSAS322Iによる拡管式とする。 ◎冷媒管に使用する断熱材被覆鋼管の断熱厚さは、液管は10mm以上、ガス管を20mm以上とする。 ◎建築物導入部の変位吸収方法は、次による。 ・給水配管、ガス配管 標準図（施工4、施工5：建築物導入部の変位吸収配管要領 ・ (a) ・ (b) ・ (c) ）による。 ※屋外埋設用配管にポリエチレン管を使用し、建物導入部において異種管と接合する場合、点検口枠（標準図【機材6】のTC-1）を設け、変位吸収余長をとる。 ・油配管 標準図（施工4、施工5：建築物導入部の変位吸収配管要領 ・ (a) ・ (b) ・ (c) ）による。 ・配管溶接部の非破壊検査は次による。 ・要（ ・ 放射線透過検査 ・ 浸透探査検査または磁粉探傷検査 ） ・ 不要 ※検査要の場合の採取率は（ ・ 標準仕様書による ・ ％ ）とする。 ◎図面に記載なき防振継手は、（ ・ 合成ゴム製 ・ ベロウズ形 ）とする。 ◎図面に記載なき伸縮管継手は、（ ・ ベロウズ形 ・ スリープ形 ）とする。 ・弁類で、ステンレス鋼管に取り付けるものは、呼径50以下は青銅製、呼径65以上はステンレス製とする。 ◎配管の吊り及び支持は、「標仕」及び「標準図」に従い行う（標仕<2>2.6.1、<2>2.6.3）。 ◎床下土中埋設配管についても吊り又は支持を行い、管の保護のため砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻す。 ◎地中配管は次による（標仕<2>2.7.1、監理指針<2>2.7.1、標準図【機材2】）。 ・排水管 標仕の当該事項に従い根切り底には再生クラッシャーランを遣り方にならい敷き込み、突き固めた後、管をなじみ良く布設する。埋め戻しは、砂の類で管の周囲を埋め戻し十分充てんした後、掘削土の良質土で所定の埋め戻しを行う。 ・排水管以外 管の保護のため山砂の類にて管の周囲を埋め戻した後、掘削土の良質土で埋め戻し、埋設表示（表示テープ及び埋設標）を行う。 ◎水圧試験、満水試験、気密試験等は、配管途中若しくは隠べい、埋め戻し前又は配管完了後の塗装又は被覆施工前に行う（標仕 <2>2.9.1）。 ◎空調対象室部分（天井内を含む）に設置する全熱交換器の外気取入用ダクト及び排気用ダクトの保温は25mm厚とする。 ◎厨房用排気ダクトの断熱（隠べい部） ○ 1・(イ)・IX（又はH・(イ)・IX） ・ 行わない ◎冷媒管の保温外装は次による。 <table><tr><td>屋内露出</td><td>合成樹脂製カパ― (A1・(ロ)・1)</td></tr><tr><td></td><td>保温化粧ケース（ ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）</td></tr><tr><td>屋外露出</td><td>ステンレス鋼板 (E2・(ロ)・1)</td></tr><tr><td></td><td>保温化粧ケース（ ・ ステンレス鋼板製 ・ 高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）</td></tr></table> ◎膨張管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管の保温は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。 ◎建物内エア抜き管の保温（エア抜き弁以降の配管は除く）は、標仕<2>3.1.4の温水管の項による。 ◎空気調和機、ファンコイルユニットの排水管の保温は、標仕<2>3.1.5の排水管の項による。 ◎給水管の床下、暗渠内及び屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。 ◎消火管の屋外露出部分は、ポリスチレンフォーム保温材とする。 ◎給水用配管でポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント及び弁は保温を行わない。 ◎次に指定する部分の露出する配管、ダクト、支持金物、架台等のうち亜鉛めっき面及び合成樹脂面の塗装は行わない。 <table><tr><td>(・ ダクトスペース、パイプシャフト内 ・)</td></tr></table> ◎次の部分の露出する電線管、支持金物、架台等は塗装を行う。 (○ 一般居室、廊下等 ・) ◎屋内、屋外及びビット内の支持金物等のうち、ステンレス製又は溶融亜鉛めっき製のものは、原則塗装不要とする。 ◎硬質塩化ビニル管にカラーパイプを使用する場合は、監督員との協議により塗装を省略することが出来る。	屋内露出	合成樹脂製カパ― (A1・(ロ)・1)		保温化粧ケース（ ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）	屋外露出	ステンレス鋼板 (E2・(ロ)・1)		保温化粧ケース（ ・ ステンレス鋼板製 ・ 高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）	(・ ダクトスペース、パイプシャフト内 ・)
設計用標準水平震度		特定の施設		一般の施設																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
設置場所	機器種別	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
上層階、 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	水 槽 類	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
中層階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
1階及び地下階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
	水 槽 類	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
屋内露出	合成樹脂製カパ― (A1・(ロ)・1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	保温化粧ケース（ ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
屋外露出	ステンレス鋼板 (E2・(ロ)・1)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	保温化粧ケース（ ・ ステンレス鋼板製 ・ 高耐食性溶融亜鉛めっき鋼板製 ・ 耐熱性樹脂製 ・ ）																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
(・ ダクトスペース、パイプシャフト内 ・)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
11	あと施工アンカー	◎あと施工アンカーボルトの選定については、次による。 （1）機器類の固定には、金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーを使用し、重要機器及び次の機器については、施工後確認試験を行う。 （ ・ ・ ・ ） ・試験方法 引張試験機による引張試験とし、確認強度まであと施工アンカーを引張るものとする。 ・試験箇所数 1ロットに対し3本とし、ロットから無作為に抜き取る。 （2）配管・ダクトの吊り及び支持材の固定には、その自重に十分耐えうるアンカーを使用する。なお、耐震支持に使用する躯体取付用のアンカーは金属拡張アンカーおねじ形又は接着系アンカーとする。 （3）屋外に使用するものはステンレス製又はJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。	17	配管工事	◎既存電気設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、電力料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存機械設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、用水料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。 ただし、施設管理者と協議すること。 ・同用地は、（ 図示の場所に ○ 用意していないので業者にて ）設けること。 ・同用地に対する借地借家料を（ ）円見込んでいる。 ・交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。 ・警備員は、延〇人(屋〇人、夜〇人：うち検定合格警備員〇人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。 ◎足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する ○ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。 ・外部足場（西面、南面、PH階北面以外） (種類：次世代足場、仕様：2枚布、D=90cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（東面） (種類：次世代足場、仕様：1枚布、D=60cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) (種類：単管本足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（北面） (種類：プラケット足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・内部足場（1、2階店舗） (種類：脚立足場) ※足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ・内部足場（種類： ，仕様： 枚布、D= cm） ◎配管材料については、次表による。 <table><tr><td rowspan="4">給水管 (地中埋設部)</td><td>○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6742)</td><td>H1VP</td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>水道用ポリエチレン二層管</td><td>(JIS K 6762)</td><td>①W又は②W</td></tr><tr><td rowspan="4">排水・通気管</td><td>水道配水用ポリエチレン管</td><td>(JWWA K 144)</td><td>(EF継手)</td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(WSP 042)</td><td>DVLP</td></tr><tr><td rowspan="4">排水管 (地中埋設部)</td><td>耐火二層管 (内管V P)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>リサイクル硬質塩化ビニル三層管</td><td>(JIS K 9797)</td><td>RS-VU</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">給湯管 (地中埋設部)</td><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6769)</td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">消火管 (地中埋設部)</td><td>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</td><td>(WSP 041)</td><td>SGP-VS</td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>ポリエチレン被覆鋼管</td><td>(JIS G 3469)</td><td>原管はJIS G 3452</td></tr><tr><td>ガス用ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6774)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">冷媒管 (地中埋設部)</td><td>○ 冷媒用断熱材被覆鋼管</td><td>(JCDA 0009)</td><td>ポリエチレン保温材 (難燃性)</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)</td></tr><tr><td>結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)</td><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>一般配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3448)</td><td></td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>蒸気 (往)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>蒸気 (復)</td><td>圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)</td><td>(JIS G 3454)</td><td>STPG370</td></tr><tr><td rowspan="2">油・油用通気 (地中埋設部)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> (注) 表中の○印のある配管材料を本工事に適用する。	給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W	排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP	排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)		配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)		冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管			配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)	膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370	油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																															
給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
12	非破壊検査	◎はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工に当たり、埋設物の事前調査を行い、監督員に報告すること。 ◎施工場所を鉄筋探査機により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。なお、探査の結果、放射線透過検査を必要とする場合については、監督員と協議の上、適切に対応するものとする。	17	配管工事	◎既存電気設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、電力料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存機械設備利用（ 出来る ○ 出来ない ）、用水料金（ 有償 ・ 無償 ） ただし、施設管理者と協議すること。 ◎工事車両用の駐車場、資材置場及び現場事務所用地については、次による。 ただし、施設管理者と協議すること。 ・同用地は、（ 図示の場所に ○ 用意していないので業者にて ）設けること。 ・同用地に対する借地借家料を（ ）円見込んでいる。 ・交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、図示する場所に 日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（ 義務付けられている ・ 義務付けられていない ）。 ・警備員は、延〇人(屋〇人、夜〇人：うち検定合格警備員〇人)を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料(勤務伝票の写し)とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。 ◎足場及び作業構台の類を（ ・ 本工事で設置する ○ 関連工事が定置するものを無償で使用できる ）。 ・外部足場（西面、南面、PH階北面以外） (種類：次世代足場、仕様：2枚布、D=90cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（東面） (種類：次世代足場、仕様：1枚布、D=60cm、シート：養生シート防災Ⅱ類) (種類：単管本足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・外部足場（北面） (種類：プラケット足場、仕様：1枚布、D=40cm程度、シート：養生シート防災Ⅱ類) ・内部足場（1、2階店舗） (種類：脚立足場) ※足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」（建築標仕<2>2.2.4）の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置方式により行うこと。承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ・内部足場（種類： ，仕様： 枚布、D= cm） ◎配管材料については、次表による。 <table><tr><td rowspan="4">給水管 (地中埋設部)</td><td>○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6742)</td><td>H1VP</td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>水道用ポリエチレン二層管</td><td>(JIS K 6762)</td><td>①W又は②W</td></tr><tr><td rowspan="4">排水・通気管</td><td>水道配水用ポリエチレン管</td><td>(JWWA K 144)</td><td>(EF継手)</td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(WSP 042)</td><td>DVLP</td></tr><tr><td rowspan="4">排水管 (地中埋設部)</td><td>耐火二層管 (内管V P)</td><td></td><td></td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP</td></tr><tr><td>リサイクル硬質塩化ビニル三層管</td><td>(JIS K 9797)</td><td>RS-VU</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">給湯管 (地中埋設部)</td><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>○ ポリブテン管</td><td>(JIS K 6778)</td><td></td></tr><tr><td>架橋ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6769)</td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">消火管 (地中埋設部)</td><td>消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管</td><td>(WSP 041)</td><td>SGP-VS</td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>ポリエチレン被覆鋼管</td><td>(JIS G 3469)</td><td>原管はJIS G 3452</td></tr><tr><td>ガス用ポリエチレン管</td><td>(JIS K 6774)</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">冷媒管 (地中埋設部)</td><td>○ 冷媒用断熱材被覆鋼管</td><td>(JCDA 0009)</td><td>ポリエチレン保温材 (難燃性)</td></tr><tr><td>○ 硬質ポリ塩化ビニル管</td><td>(JIS K 6741)</td><td>VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)</td></tr><tr><td>結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管</td><td></td><td></td></tr><tr><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)</td><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3459)</td><td></td></tr><tr><td>一般配管用ステンレス鋼管</td><td>(JIS G 3448)</td><td></td></tr><tr><td>水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 116)</td><td>SGP-VA (管端防食継手)</td></tr><tr><td rowspan="4">膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(白)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管</td><td>(JWWA K 140)</td><td>SGP-HVA (管端防食継手)</td></tr><tr><td>蒸気 (往)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td>蒸気 (復)</td><td>圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)</td><td>(JIS G 3454)</td><td>STPG370</td></tr><tr><td rowspan="2">油・油用通気 (地中埋設部)</td><td>配管用炭素鋼鋼管(黒)</td><td>(JIS G 3452)</td><td>SGP</td></tr><tr><td></td><</tr></table>	給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W	排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP	排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)			○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		○ ポリブテン管	(JIS K 6778)		架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)		配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)		冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管			配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)		一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)		水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)	膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370	油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																															
給水管 (地中埋設部)	○ 水道用耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6742)	H1VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手) SGP-YD (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用ポリエチレン二層管	(JIS K 6762)	①W又は②W																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水・通気管	水道配水用ポリエチレン管	(JWWA K 144)	(EF継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(WSP 042)	DVLP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
排水管 (地中埋設部)	耐火二層管 (内管V P)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	リサイクル硬質塩化ビニル三層管	(JIS K 9797)	RS-VU																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
給湯管 (地中埋設部)	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	○ ポリブテン管	(JIS K 6778)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	架橋ポリエチレン管	(JIS K 6769)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
消火管 (地中埋設部)	消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管	(WSP 041)	SGP-VS																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ポリエチレン被覆鋼管	(JIS G 3469)	原管はJIS G 3452																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	ガス用ポリエチレン管	(JIS K 6774)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
冷媒管 (地中埋設部)	○ 冷媒用断熱材被覆鋼管	(JCDA 0009)	ポリエチレン保温材 (難燃性)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	○ 硬質ポリ塩化ビニル管	(JIS K 6741)	VP (φ30以下はJIS K 6742を (JIS K 6742) 使用してもよい)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	結露防止層付硬質ポリ塩化ビニル管																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
冷水・温水 ・冷温水 (地中埋設部)	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3459)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	一般配管用ステンレス鋼管	(JIS G 3448)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 116)	SGP-VA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
膨張・空気抜 ・補給水 (屋上及び塔屋)	配管用炭素鋼鋼管(白)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管	(JWWA K 140)	SGP-HVA (管端防食継手)																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	蒸気 (往)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
	蒸気 (復)	圧力配管用炭素鋼鋼管(黒 Sch 40)	(JIS G 3454)	STPG370																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
油・油用通気 (地中埋設部)	配管用炭素鋼鋼管(黒)	(JIS G 3452)	SGP																																																																																																																																																																																																																																																																																																															

項目	特記事項	項目	特記事項	項目	特記事項																																																																																				
19 空気調和設備・換気設備	◎ドレン管の横走り管の勾配は、原則として1/100とする。 ◎ダクトの区分（○ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト（範囲は図示） ・ 高圧2ダクト（範囲は図示）） ◎長辺の長さ≦500mm以下の長方形低圧ダクトの工法 ＝（ ・ コーナーボルト工法（ ・ 共振フランジ工法 ・ スライドオンフランジ工法） ・ アングルフランジ工法） ＝ ＝上記以外の長方形ダクト及び厨房排気ダクトは、アングルフランジ工法とする。 ◎厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」を適用する。 ◎ダクトの防火区画貫通部は標準図〔施工42〕ダクトの防火区画貫通部施工要領による。 ◎吹出口・吸込口については次のとおりとする。 ＝・ボックス＝（ ・ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ）とする。 ◎ウェザーカパ＝については次のとおりとする。 ＝・材質（ ・ ステンレス製 ・ ） ・ 塗装（ ・ 指定色塗装 ・ 耐重塩害仕様） ＝ ＝・付属品（ ・ 網 ・ 防火ダンパー（図示による） ・ 別図による） ◎ベントキャップについては次のとおりとする。 ・材質（○ ステンレス製 ・ ） ・ 形状（ ・ 深形 ○ 丸形防風板覆い付） ・塗装（ ・ 指定色塗装 ・ 耐重塩害仕様指定色塗装） ・付属品（ ・ 水切り ・ ガラリ ○ 網 ○ 防火ダンパー（図示による） ・ 別図による） ◎冷媒管口径、電気配線サイズは製造者の標準仕様とする。 ◎屋内機、屋外機間の電気配線（アース共）は冷媒管と共巻きとする。 ◎屋外機の防振措置は、図示による。 ◎冷媒配管のろう付け及び溶接作業は、酸化防止措置として、配管内に不活性ガス（窒素ガス）を通しながら行う。（標仕〈2〉2.4.6） なお、酸化防止スプレーは使用しないこと、酸化防止スプレーの使用等不都合な工事施工があった場合は、たとえ工事が進行済みであっても根本的な手直し（配管及び機器類の入替等）を命ずるので、特に注意して施工すること。 また、手直し工事は受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。 ◎エアパージについては、製造者指定の方法により行う。 製造者の指定がない場合は、真空ポンプは15分以上運転し、低圧ゲージの指針が-0.1MPaになっていることを確認し、配管内を冷媒で充填させること。 なお、非共沸混合冷媒（R407C、R410A等）を系内へ充填する場合は液相で行うこと。また、改修等で冷媒を補充する場合は、配管系内の冷媒を全て抜いた後、新規に系内に液相で充填を行うこと。 ◎空調機等の取り外しに際し、空調機等の冷媒は、専門業者により回収を行い空気中に飛散させてはならない。 また、PCBを含む機器は、調書を添えて引き渡しとする。 ◎空調機等の整備や撤去処分を行う場合は、フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律をはじめとする関係法令に基づき、作業や手続きを行う。 家電リサイクル法に該当する機器については、家電リサイクル法により処理すること。 ◎分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線で、配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督員との協議により図面表示と多少相違させてよい。 ◎盤内、幹線プルボックス内、ケーブルラック上の要所、マンホール・ハンドホール内、その他の要所には合成樹脂製、ファイバ製等の表示札等を取付け、回路の種別、行先等を表示する。 なお、屋外において直接外気に触れる場所（盤内、プルボックス内を除く。）及びマンホール・ハンドホール内の表示札等はエッチングプレート等の耐候性を有するものとする。 ◎機材の検査に伴う試験については、標仕〈1〉1.4.6により行う。製造者において試験方法を定めている項目については、試験要領書を提出する。 ◎試運転調整にあたっては、（監理指針 参考資料 資料2 試運転調整法 2.1、2.2）を参考とする。 ◎低圧屋内配線、弱電流電線については絶縁抵抗測定を行う。 ◎改修又は増設工事等において既設配線との接続が本工事に含まれる場合は、工事着手前及び工事完了後に既設配線の絶縁抵抗を測定する。 ◎屋内機が天井吊形、カセット形の場合の設置は、「標仕」及び「標準図」に従い行う（標仕〈3〉2.1.13 なお、振れ止め（締め具含む）は亜鉛めっき仕様とする。 	20 衛生器具設備	◎本工事の施工にあたっては、電気工事士法に基づく資格者により行うこと。 なお、電気工事士法に基づく資格と工事の範囲は次表のとおり。 <table><tr><th rowspan="2">資 格</th><th colspan="4">自家用電気工作物（最大電力500kW未満）</th><th rowspan="2">一般用電気工作物</th></tr><tr><th>右記以外</th><th>600V以下 （電線路を除く）</th><th>ネオン設備</th><th>非常用 予備発電装置</th></tr><tr><td>第一種電気工事士</td><td>○</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>第二種電気工事士</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td></tr><tr><td>認定電気工事従事者</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>特殊電気工事資格者 （ネオン工事）</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td><td>×</td></tr><tr><td>特殊電気工事資格者 （非常用予備発電装置）</td><td>×</td><td>×</td><td>×</td><td>○</td><td>×</td></tr></table> ※ 最大電力500kW以上の自家用電気工作物については、選任されている電気主任技術者の指揮のもと、本表に準じた資格者で行う。 ◎屋外機はダブルナットで固定し、ボルト頂部のねじ山をナットから3山程度出して締結すること。 ◎小便器用節水装置について図面に特記なき場合は、洗浄水量が4L/回以下とし、使用状況により洗浄水量が制御できるものとする。 形式 ・ 小便器一体型 ・ 小便器分離型 方式 ・ 個別感知の電源種別（※AC電源 ・ ） ◎自動水栓の電源種別については、以下のとおりとする。 電源種別（・AC電源 ○ 自己発電 ・ ） ◎大便器の洗浄水量は6.5L/回以下とする。 ◎衛生器具をコンクリート又はれんがが壁に取り付ける場合は、エキスパンションボルト又は樹脂製プラグを使用し、木れんがの場合は、防腐剤を塗布したものを壁体に埋込む。（標仕〈5〉2.1.1） ◎衛生器具をコンクリートブロック壁面に取り付けする場合は、補強のため取付部分のブロック内の空洞部分をモルタル等で埋める。また、間仕切り壁等の場合は、壁内に補強材を取り付ける。（監理指針〈5〉2.1.1） ◎衛生器具と排水管の接続は、標準図〔施工65〕大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとビニル管接続要領による。 ◎ビニル管の接合方法は（○ 接着接合 ・ ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする））とする。 ・ポリエチレン管の接合方法は、50A以下は（ ・ メカニカル接合 ・ 電気融着接合）、75A以上は電気融着接合とする。 ◎特記なき給水管の最小管径は呼径20とする。 ・水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。 ◎弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分はJIS-10Kとする。 ・給水引込部の（ ・ 止水栓 ・ 弁掛）は水道事業者の指定品とする。 ・定水位調整弁は（ ・ 標準仕様書による（付属品含む） ・ 水道事業者指定品 ）とする。 なお、定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。 ・緊急遮断弁装置の屋外に設置する制御盤は、ステンレス製とする。 ◎量水器については次による。 ・親メーター（ ・ 借用 ・ 買取（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（パルス式）） ○子メーター（○ 買取 ・ 借用（○ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（パルス式）） ・量水器樹については次による。 ・親メーター用（ ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図〔機材57〕量水器樹） ・子メーター用（ ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図〔機材57〕量水器樹） ◎水栓については次による。 ・屋外の水栓は（ ・ キーハンドル ・ 図示 ）による。 ○台所流し用の水栓は、泡沫式とする。 ・水栓柱については次による。 ・合成樹脂製 ・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼製 ・ ◎湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造者の標準品とする。	資 格	自家用電気工作物（最大電力500kW未満）				一般用電気工作物	右記以外	600V以下 （電線路を除く）	ネオン設備	非常用 予備発電装置	第一種電気工事士	○	○	×	×	○	第二種電気工事士	×	×	×	×	○	認定電気工事従事者	×	○	×	×	×	特殊電気工事資格者 （ネオン工事）	×	×	○	×	×	特殊電気工事資格者 （非常用予備発電装置）	×	×	×	○	×	21 給水設備	◎ビニル管の接合方法は（○ 接着接合 ・ ゴム輪接合（直管以外の継手部には離脱防止金具取付とする））とする。 ・ポリエチレン管の接合方法は、50A以下は（ ・ メカニカル接合 ・ 電気融着接合）、75A以上は電気融着接合とする。 ◎特記なき給水管の最小管径は呼径20とする。 ・水道直結配管の引き込みは水道事業者の指定による。 ◎弁類で、公営水道に直結する配管に使用するものはJIS-10Kとし、高置水槽以降の配管に使用するものはJIS-5Kとする。ただし、特記部分はJIS-10Kとする。 ・給水引込部の（ ・ 止水栓 ・ 弁掛）は水道事業者の指定品とする。 ・定水位調整弁は（ ・ 標準仕様書による（付属品含む） ・ 水道事業者指定品 ）とする。 なお、定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。 ・緊急遮断弁装置の屋外に設置する制御盤は、ステンレス製とする。 ◎量水器については次による。 ・親メーター（ ・ 借用 ・ 買取（ ・ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（パルス式）） ○子メーター（○ 買取 ・ 借用（○ 現地表示式（直読式） ・ 遠隔表示式（パルス式）） ・量水器樹については次による。 ・親メーター用（ ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図〔機材57〕量水器樹） ・子メーター用（ ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準図〔機材57〕量水器樹） ◎水栓については次による。 ・屋外の水栓は（ ・ キーハンドル ・ 図示 ）による。 ○台所流し用の水栓は、泡沫式とする。 ・水栓柱については次による。 ・合成樹脂製 ・ アルミニウム合金製 ・ ステンレス鋼製 ・ ◎湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造者の標準品とする。	22 給湯設備	◎湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造者の標準品とする。																																										
資 格	自家用電気工作物（最大電力500kW未満）				一般用電気工作物																																																																																				
	右記以外	600V以下 （電線路を除く）	ネオン設備	非常用 予備発電装置																																																																																					
第一種電気工事士	○	○	×	×	○																																																																																				
第二種電気工事士	×	×	×	×	○																																																																																				
認定電気工事従事者	×	○	×	×	×																																																																																				
特殊電気工事資格者 （ネオン工事）	×	×	○	×	×																																																																																				
特殊電気工事資格者 （非常用予備発電装置）	×	×	×	○	×																																																																																				
23 消火設備	◎消火栓開閉弁は（ ・ 10K ・ 16K ）とする。 ◎呼水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ◎充水タンクの保温 ・ 施工しない ・ 施工する ◎消火配管の保温は次による（屋外露出は、保温種別：E2・(ハ)・VIIによる。）。 ・屋内消火栓 ・ 施工しない ・ 施工する ・スプリンクラー ・ 施工しない ・ 施工する ・連結送水 ・ 施工しない ・ 施工する ・連結散水 ・ 施工しない ・ 施工する ◎屋内消火栓については次による。 ・広範囲型2号消火栓 ・ 易操作性1号消火栓 ・ 1号消火栓 ・ 2号消火栓 ◎屋外消火栓箱・ホース格納箱については次による。 ・鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 ◎ユニット型浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。 「本体構造等」（標仕〈8〉3.1.1）で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。 ◎浄化槽の蓋（枠を含む）は、溶融亜鉛めっき仕上げの鋼板製若しくは溶融亜鉛めっき仕上げの鉄製とし、固定が確実で、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。 ◎ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。 現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。 ◎屋外及びピット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT 49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。 ◎機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。（標仕〈1〉1.7.4） なお、屋外及び水気のある場所（弁樹内等を含む）での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。 ◎使用する電線及びケーブルは、標仕〈4〉1.5.1 表4.1.11による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。	24 浄化槽設備	◎ユニット型浄化槽は国土交通大臣の型式認定品とし、製造者標準仕様品とする。 「本体構造等」（標仕〈8〉3.1.1）で準用する現場施工型浄化槽の機材の仕様については参考とする。 ◎浄化槽の蓋（枠を含む）は、溶融亜鉛めっき仕上げの鋼板製若しくは溶融亜鉛めっき仕上げの鉄製とし、固定が確実で、十分な防臭性能及び耐候性を有すること。 ◎ユニット形浄化槽の製作に際しては「製品検査要領」を提出した後、製品検査を実施する。 現地据付に際しては「据付検査要領」を提出する。 ◎屋外及びピット内の支持金物等はステンレス製又は鋼材にJIS H 8641「溶融亜鉛めっき」に規定するHDZT 49以上の溶融亜鉛めっきを施したものとする。 ◎機器には名称及び記号を、配管及びダクトには、識別表示・用途・流れ方向を記入する。（標仕〈1〉1.7.4） なお、屋外及び水気のある場所（弁樹内等を含む）での機器の名称・配管識別表示等については、塗装書き又は耐候性を有するカッティングシートとし、バルブの状態表示を示す表示札等については、合成樹脂製又はアクリル製で文字等がシルク印刷又はエッチング加工されたものとする。 ◎使用する電線及びケーブルは、標仕〈4〉1.5.1 表4.1.11による他、製造者の標準仕様による。なお、EM電線、EMケーブルを選択するよう努める。	25 その他																																																																																					
<table><tr><th colspan="3">凡 例</th></tr><tr><th>記号</th><th>名称</th><th>摘要</th></tr><tr><td>———</td><td>給水管</td><td>耐衝撃性硬質塩化ビニル管（JIS K 6742）H I P or ポリブテン管</td></tr><tr><td>—— ——</td><td>給湯管</td><td>ポリブテン管</td></tr><tr><td>————</td><td>排水管</td><td>硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P</td></tr><tr><td>———</td><td>通気管</td><td>硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⋈</td><td>仕切弁</td><td>○枠・ボックス付</td></tr><tr><td>⋈</td><td>逆止弁</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⋈</td><td>給水栓</td><td>□印・塩ビ被覆水栓柱付（60角1200L）</td></tr><tr><td>⋈</td><td>給湯栓</td><td></td></tr><tr><td>⋈</td><td>混合水栓</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>④</td><td>量水器</td><td>直読式</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⊗</td><td>排水金具</td><td></td></tr><tr><td>⑪</td><td>床上掃除口</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>□</td><td>雨水樹</td><td>樹表参照</td></tr><tr><td>⊗</td><td>排水樹</td><td>樹表参照</td></tr><tr><td>⊗</td><td>汚水樹</td><td>樹表参照</td></tr><tr><td>GT</td><td>ｸﾞﾘｽﾀﾌﾞﾙ 樹</td><td>ステンレス製（ステンレス蓋）</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>— R —</td><td>冷媒配管</td><td>被覆断熱銅管（L型）</td></tr><tr><td>—— D ——</td><td>ドレン管</td><td>硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>☒</td><td>換気扇</td><td></td></tr></table>						凡 例			記号	名称	摘要	———	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（JIS K 6742）H I P or ポリブテン管	—— ——	給湯管	ポリブテン管	————	排水管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P	———	通気管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P				⋈	仕切弁	○枠・ボックス付	⋈	逆止弁					⋈	給水栓	□印・塩ビ被覆水栓柱付（60角1200L）	⋈	給湯栓		⋈	混合水栓					④	量水器	直読式				⊗	排水金具		⑪	床上掃除口					□	雨水樹	樹表参照	⊗	排水樹	樹表参照	⊗	汚水樹	樹表参照	GT	ｸﾞﾘｽﾀﾌﾞﾙ 樹	ステンレス製（ステンレス蓋）				— R —	冷媒配管	被覆断熱銅管（L型）	—— D ——	ドレン管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P				☒	換気扇	
凡 例																																																																																									
記号	名称	摘要																																																																																							
———	給水管	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（JIS K 6742）H I P or ポリブテン管																																																																																							
—— ——	給湯管	ポリブテン管																																																																																							
————	排水管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P																																																																																							
———	通気管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P																																																																																							
⋈	仕切弁	○枠・ボックス付																																																																																							
⋈	逆止弁																																																																																								
⋈	給水栓	□印・塩ビ被覆水栓柱付（60角1200L）																																																																																							
⋈	給湯栓																																																																																								
⋈	混合水栓																																																																																								
④	量水器	直読式																																																																																							
⊗	排水金具																																																																																								
⑪	床上掃除口																																																																																								
□	雨水樹	樹表参照																																																																																							
⊗	排水樹	樹表参照																																																																																							
⊗	汚水樹	樹表参照																																																																																							
GT	ｸﾞﾘｽﾀﾌﾞﾙ 樹	ステンレス製（ステンレス蓋）																																																																																							
— R —	冷媒配管	被覆断熱銅管（L型）																																																																																							
—— D ——	ドレン管	硬質塩化ビニル管（JIS K6741）V P																																																																																							
☒	換気扇																																																																																								

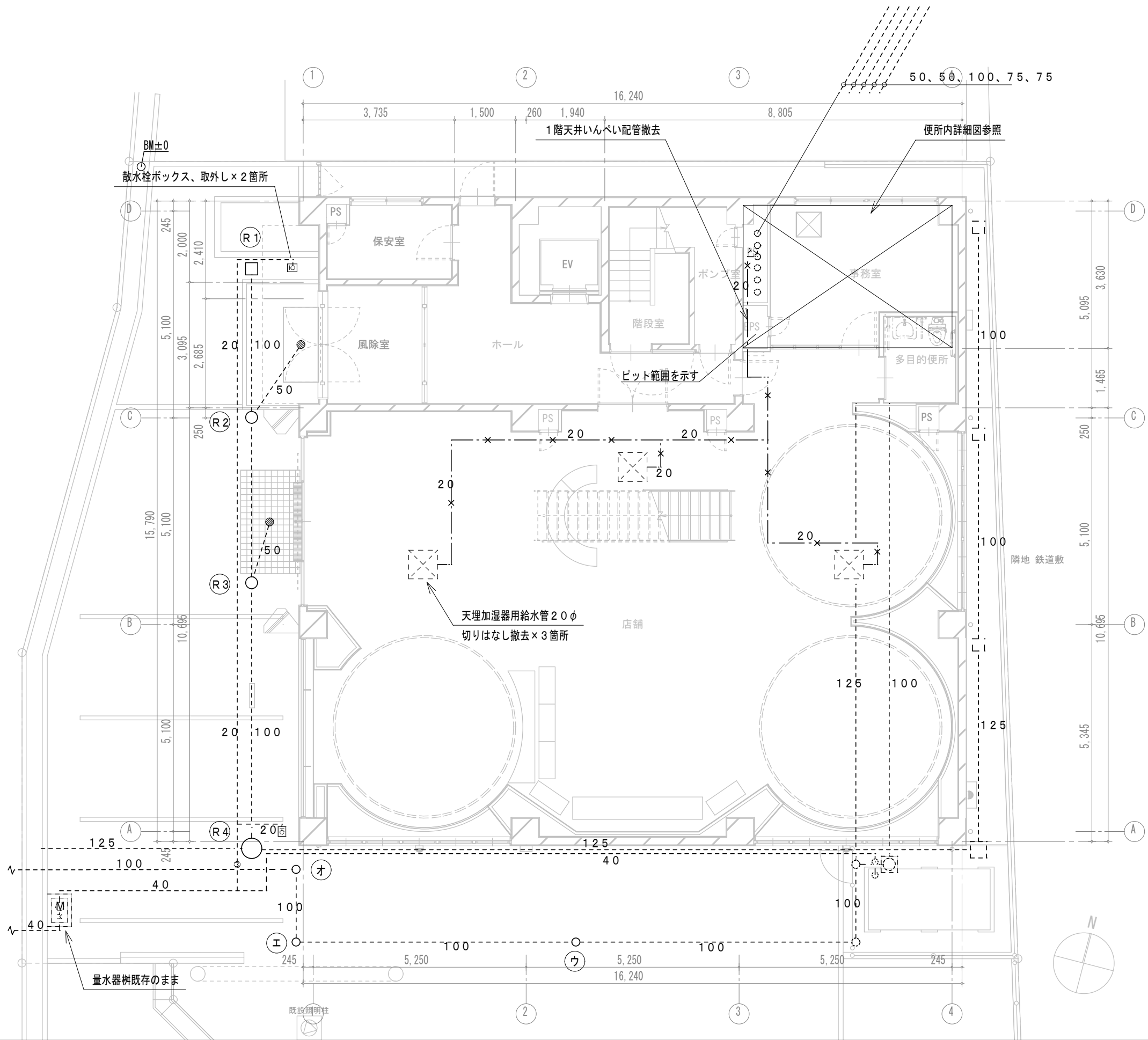


器具名称	規格寸法・参考品番	付属品・参考品番	1階 厨房1	1階 厨房2	1階 男子便所	1階 女子便所	2階 男子便所	2階 女子便所	4階 男子便所	4階 女子便所	5階 男子便所	5階 女子便所
洋風便器（和洋改修工法）	CFS498BMLCKT	TCF588、HP4307、YH702、改修工事含					1	1	1			
洋風便器（和洋改修工法）	CFS498BMCKT	TCF588、HP4307、YH702、改修工事含					1	1	1			
洋風便器	CFS498BCK	TCF5731AU、YH702			1	1						
小便器	CFS900JCS				1							
洗面器	LS703	TLE26SM1W、TLDS2103JA			1	1						
手洗器	L30D	TL19AR、T22BP、TL4CFU、TL220D	1	1								
手すり	T112CL10	T110D37×3、T110D46×3			1	1						
手すり	T112HK7R	T110D36、T110D54			1	1						
ベビーシート	YKA25N	T110D45×2、YPH62018W2R			1	1						
ベビーチェア	YKA15S	T110D45×2、YPH62017W2			1	1						
混合水栓	TKS05311J		2	2								
自動水栓	TLE28SS1W						1	1	1	1	1	1
低位通気弁	50				1							
床下掃除口	100-CO				1							
床上掃除口	80-COA		1	1								
床上掃除口	100-COA		1									

器具名称	規格寸法	付属品	1階 多目的便所	2階 男子便所	2階 女子便所	4階 男子便所	4階 女子便所	5階 男子便所	5階 女子便所
和風便器	C750V	S670B、TS116W、付属品共（和洋改修工法による部分カット）		1	1	1	1	1	1
和風便器	C750V	S670B、TS116W、付属品共（和洋改修工法による埋立処理）			1		1		1
身障者用便器	C480A	TS740BSX、TS116W、付属品共	1						
洗面器	L221	化粧鏡共（配管化粧キャップ止め処理）			1		1		1
単水栓（洗面器）	（水栓のみ撤去）	L221（洗面器）		1	1	1	1	1	1
身障者用洗面器	L103A	TL19A、T6P、付属品共	1						
手すり	T112CRS		1						
手すり	T112CHS		1						
手すり	T112CP3		1						



1階給排水設備図（改修前）



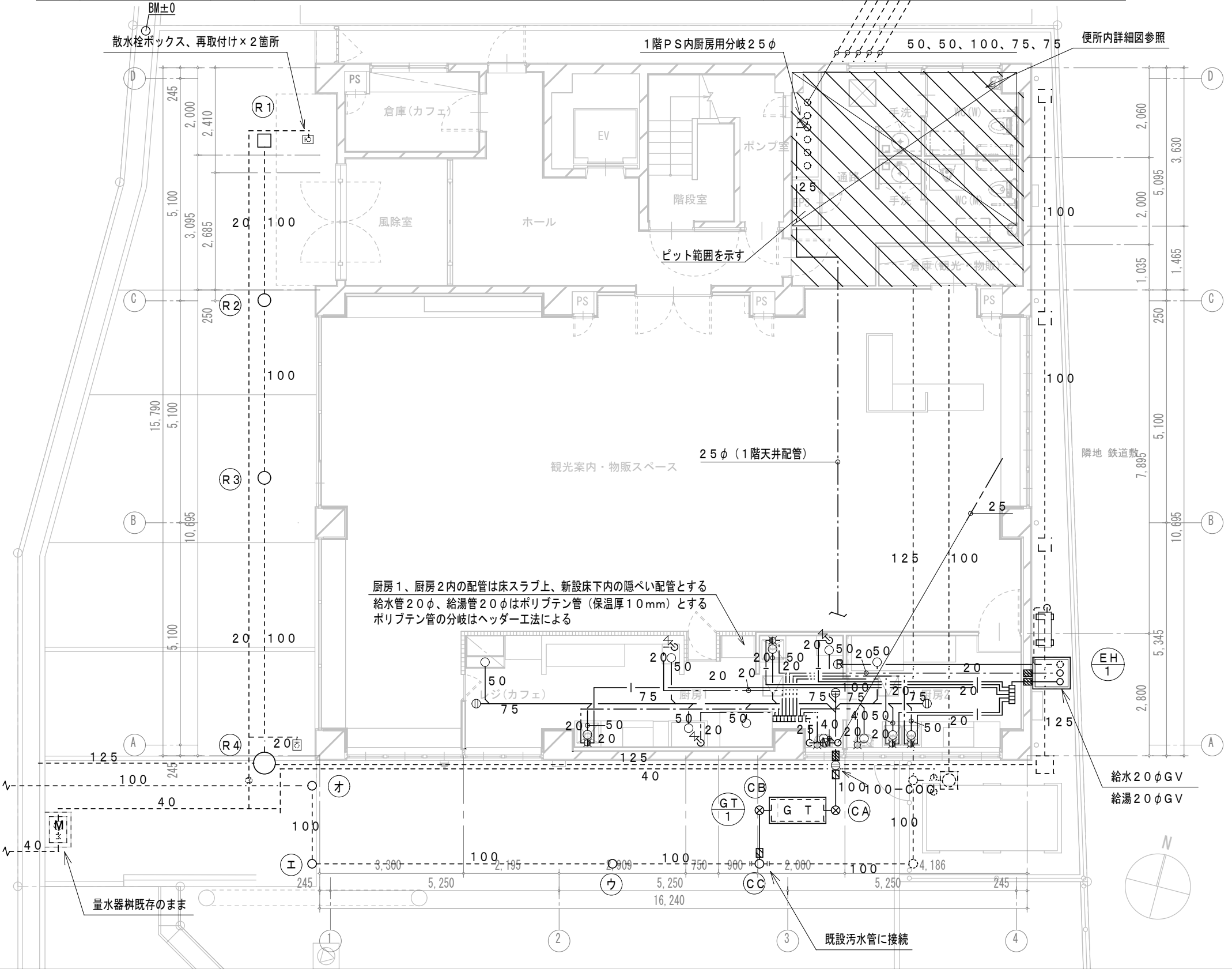
樹表（改修前）

記号	樹名称	樹寸法	樹深さ	摘要
ウ	汚水樹	200φ	764H	200φ防護蓋取外し
エ	汚水樹	200φ	835H	200φ防護蓋取外し
オ	汚水樹	200φ	865H	200φ防護蓋取外し
R1	雨水樹	300φ	300H	300φ化糞蓋取外し
R2	雨水樹	300φ	340H	300φマンホール取外し
R3	雨水樹	300φ	390H	300φマンホール取外し
R4	トラップ樹	450φ	480H	450φマンホール取外し

1階給排水設備図（改修後）

給排水設備機器表（改修後）

記号	機器名称	台数	機器仕様・付属品	電源	備考
EH1	ヒートポンプ式給湯機	1	屋外据置型、角型タンク容量550L、減圧弁、遮し弁内蔵、リモコンスイッチ、リモコンコード 加熱能力：7.2kW、定格消費電力：1.7kW、ヒートポンプユニット、貯湯ユニット 固定金具、脚部化糞カバー、標準配管部材、付属品共、ヒートポンプ据付台：600L×130H×2 槽コンクリート基礎：≒730×860×200H、配筋縦横D10@150、砕石地業100H	1φ200V	GE-Y553UD（三菱電機）相当品
GT1	グリーストラップ	1	ステンレス製、パイプ導入式 本体容量：204L、許容流入流量：150L/min 銅板製マンホール割蓋（T-8、亜鉛めっき）、枠付、かさ上げ枠、付属品共 槽下部：コンクリート基礎（150H）、砕石地業共、槽周囲：コンクリート巻（150厚） 外形寸法≒1500×800×850H、槽下部、周囲配筋：縦横D10@150		KSGT-8-6020（カネソウ）相当品

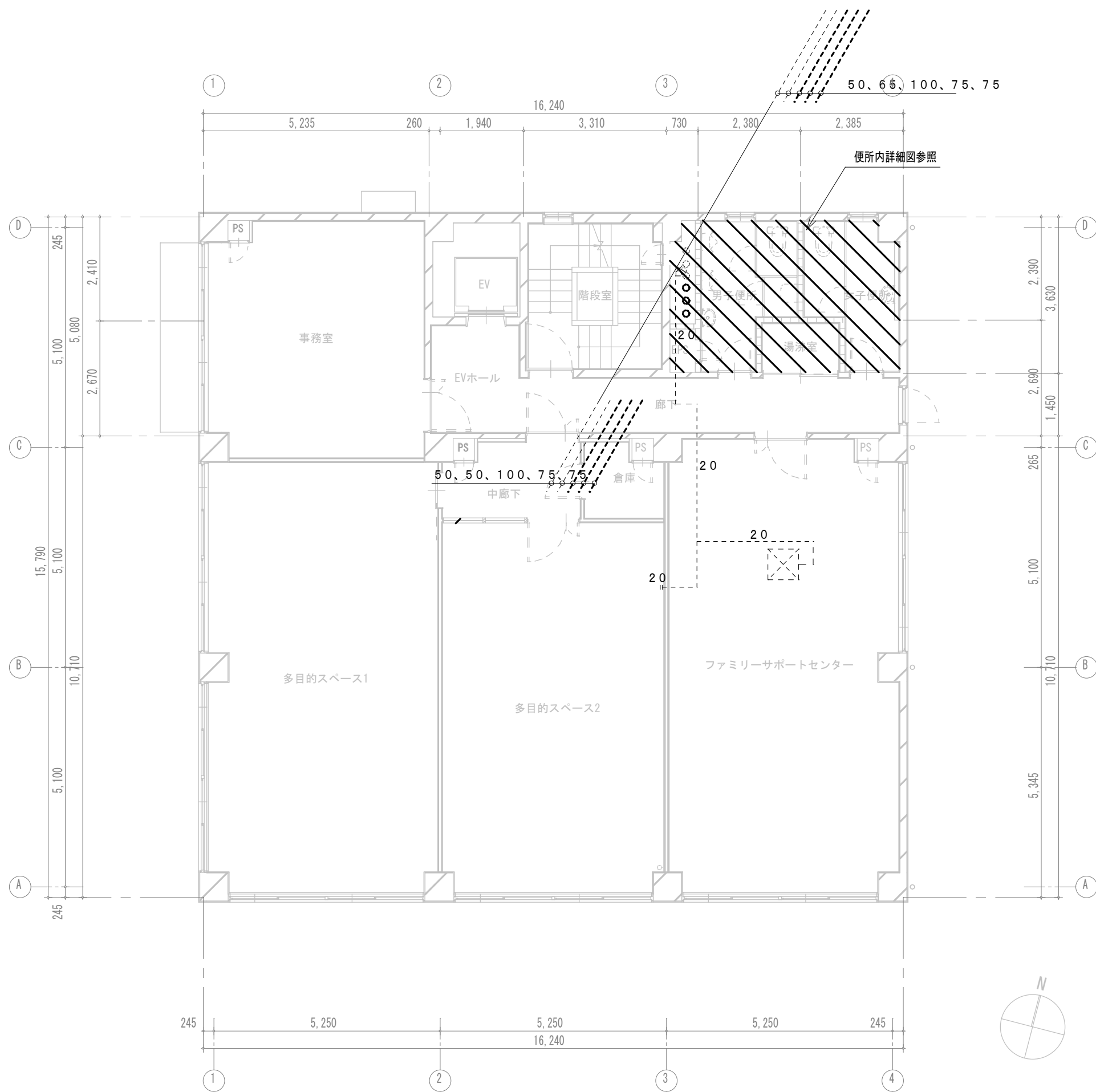
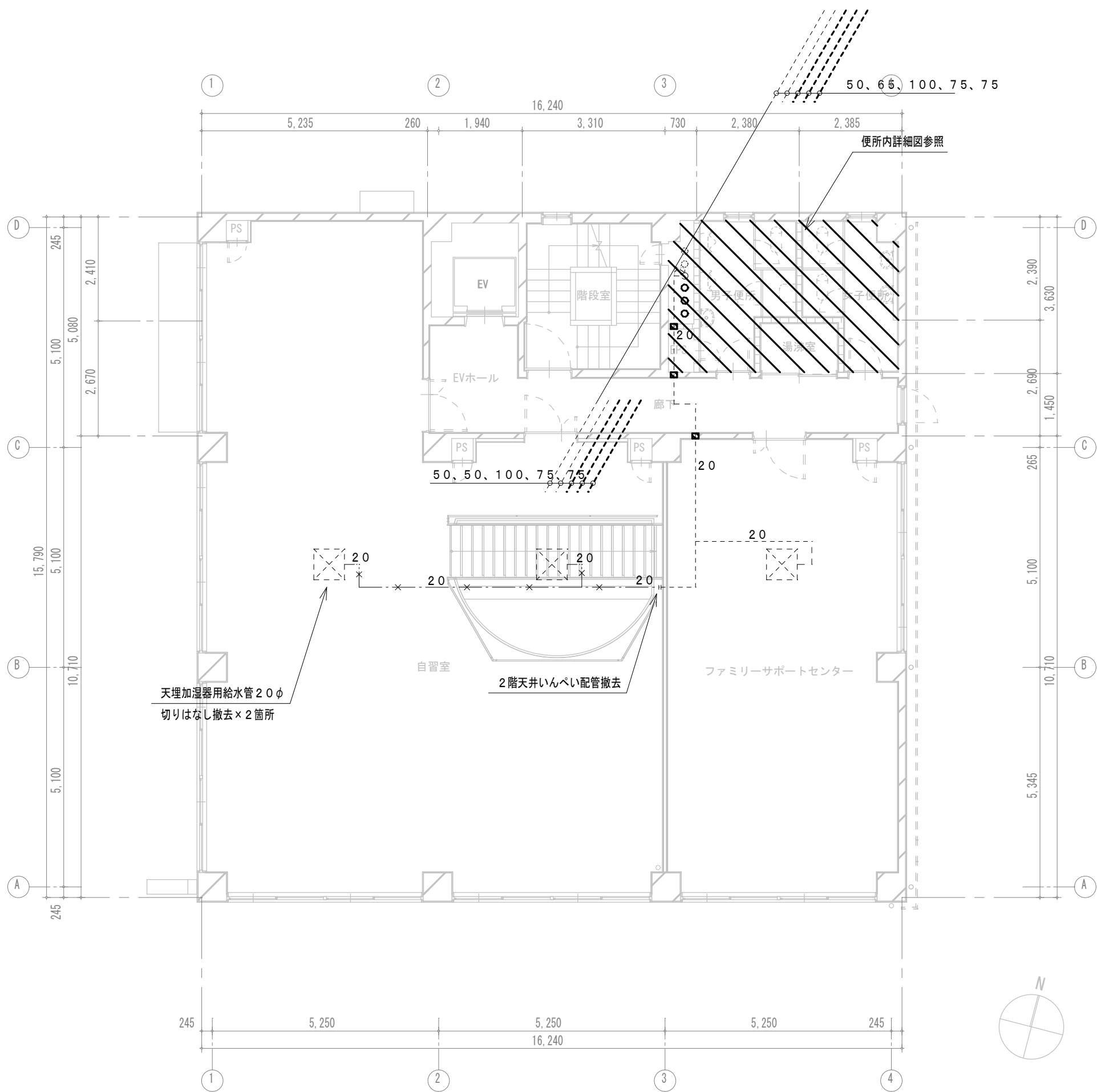


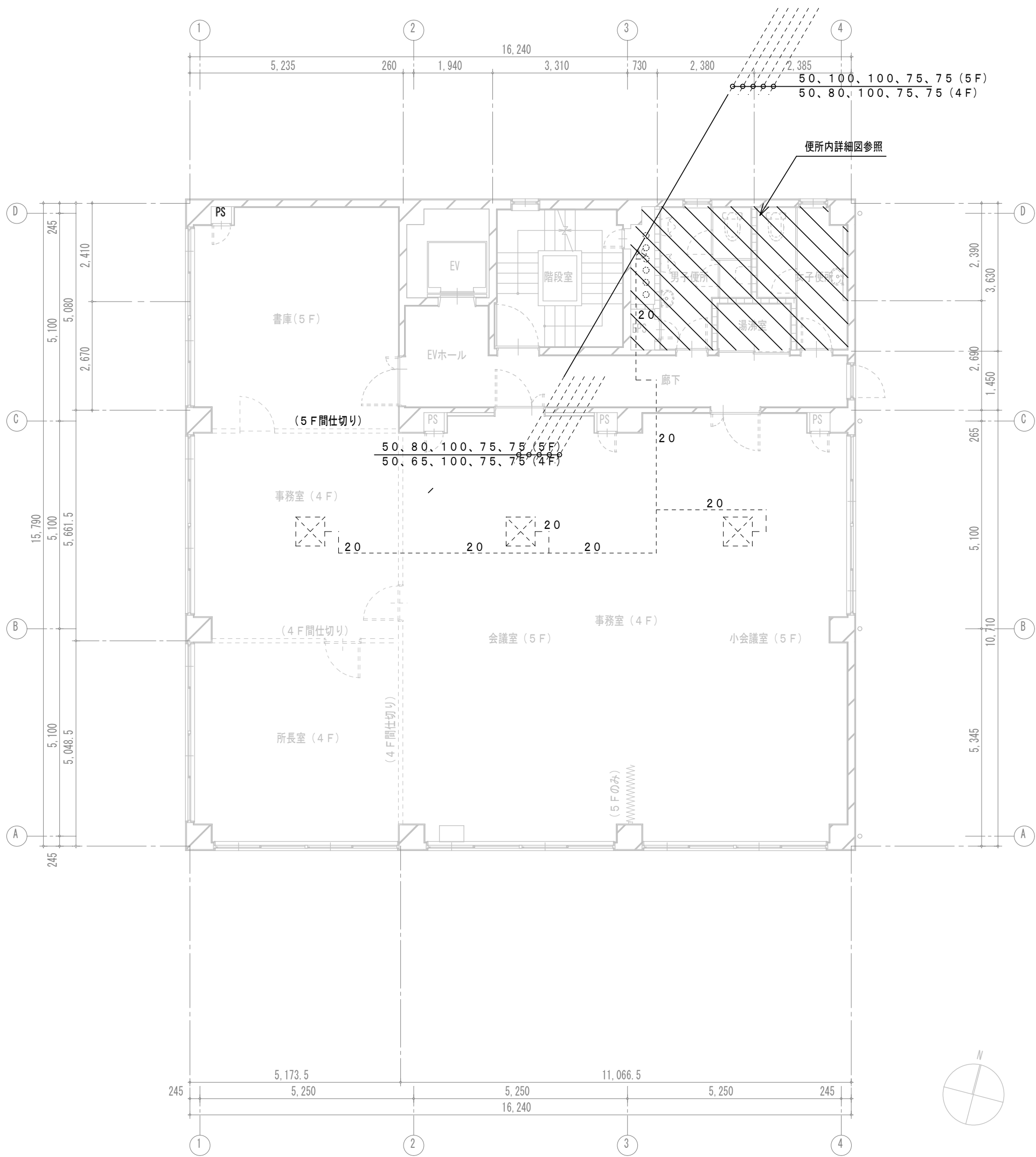
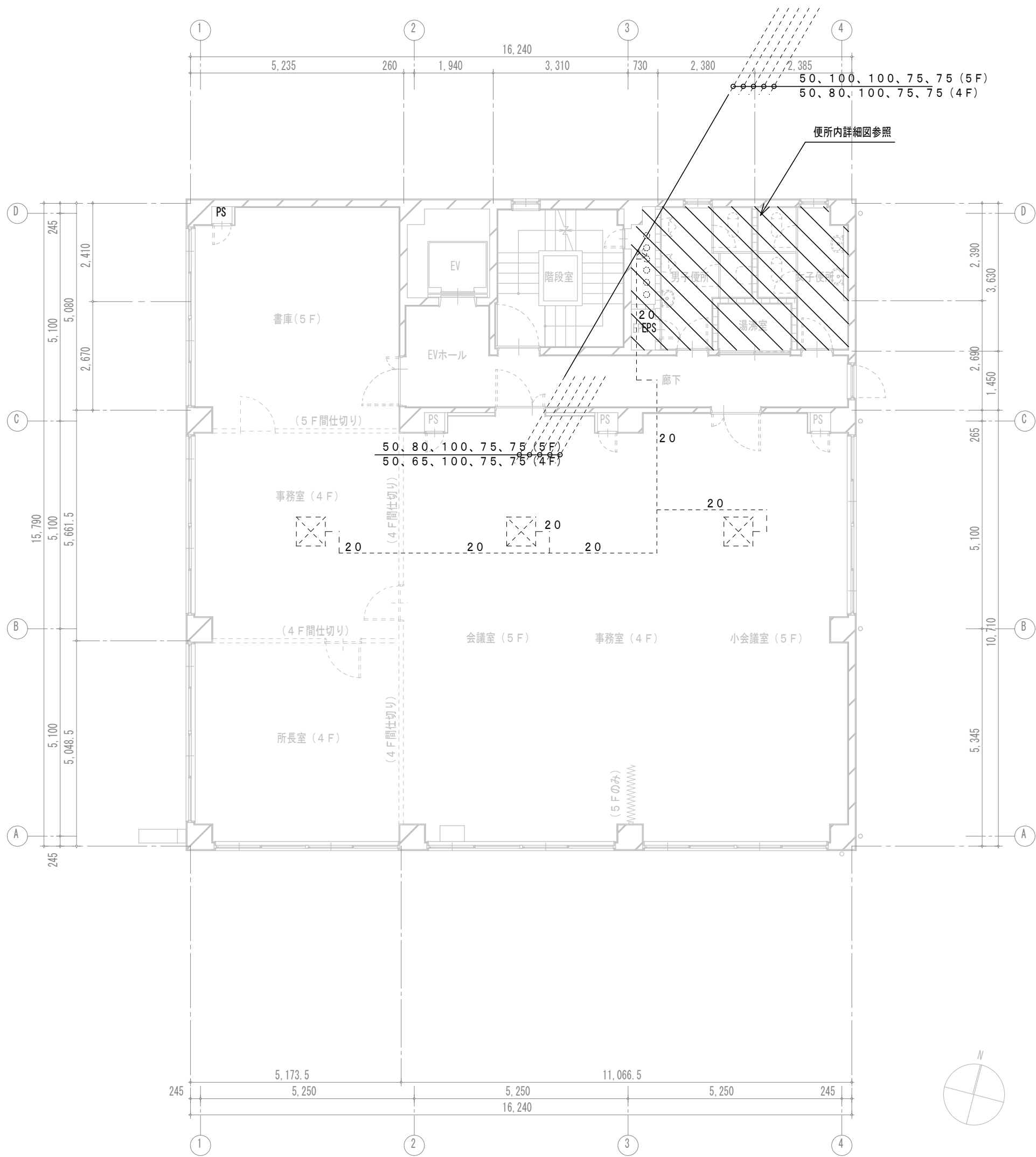
樹表（改修後）

記号	樹名称	樹寸法	樹深さ	摘要
CA	排水樹	200φ	250H	90L 100-200、鑄鉄防護蓋（T-8）、中蓋付 新設
CB	排水樹	200φ	710H	VT 100-200、鑄鉄防護蓋（T-8）、中蓋、支管付 新設
CC	汚水樹	200φ	734H	90Y 100-200、鑄鉄防護蓋（T-8）、中蓋付 新設
ウ	汚水樹	200φ	764H	200φ防護蓋再取付け 既設
エ	汚水樹	200φ	835H	200φ防護蓋再取付け 既設
オ	汚水樹	200φ	865H	200φ防護蓋再取付け 既設
R1	雨水樹	300φ	300H	300φ化糞蓋再取付け 既設
R2	雨水樹	300φ	340H	300φマンホール再取付け 既設
R3	雨水樹	300φ	390H	300φマンホール再取付け 既設
R4	トラップ樹	450φ	480H	450φマンホール再取付け 既設

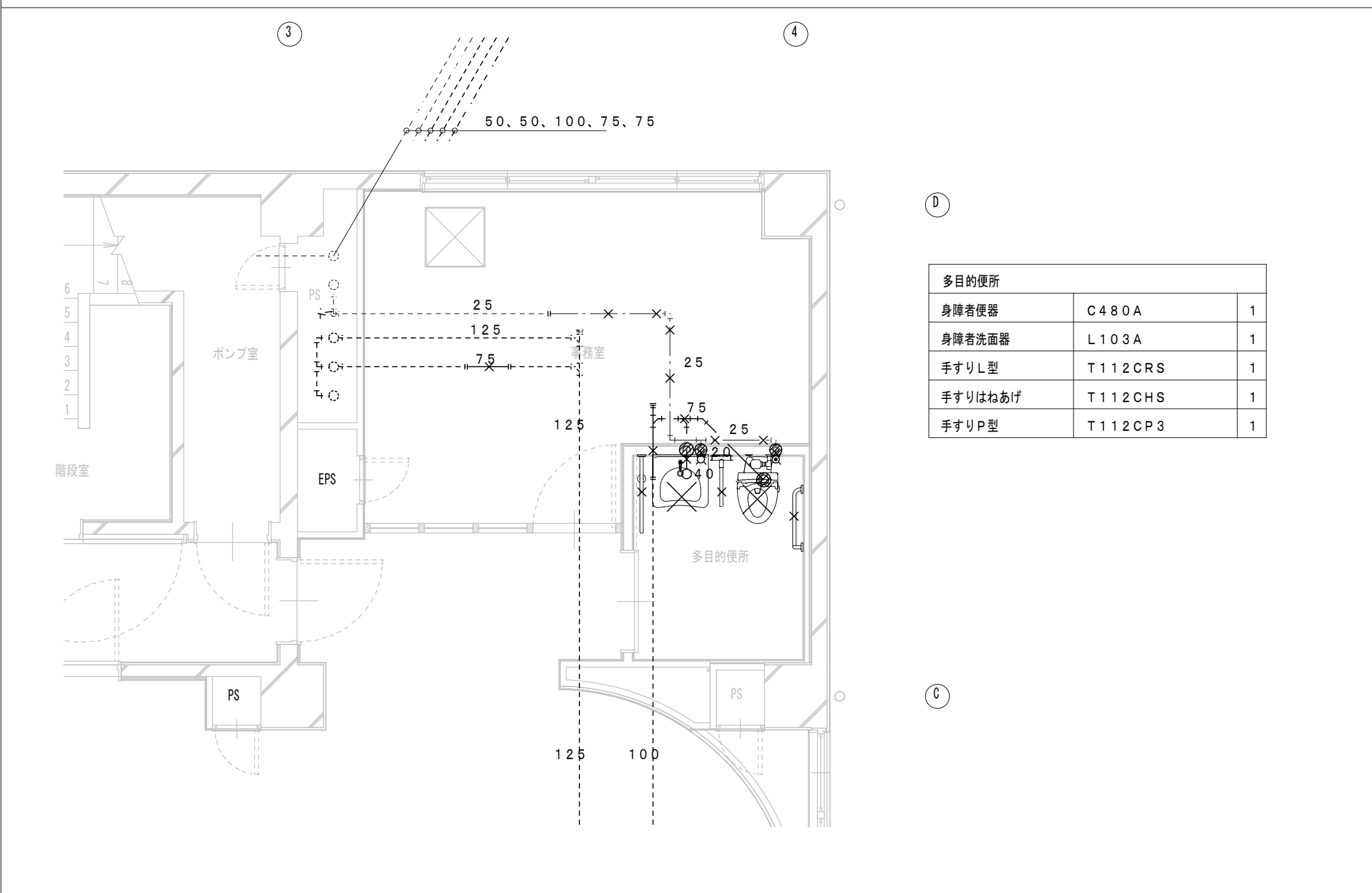
厨房1		
手洗器	L30D	1
混合水栓	TKS05311J	2
床上掃除口	80-COA	1
床上掃除口	100-COA	1

厨房2		
洗面器	L30D	1
混合水栓	TKS05311J	2
床上掃除口	80-COA	1

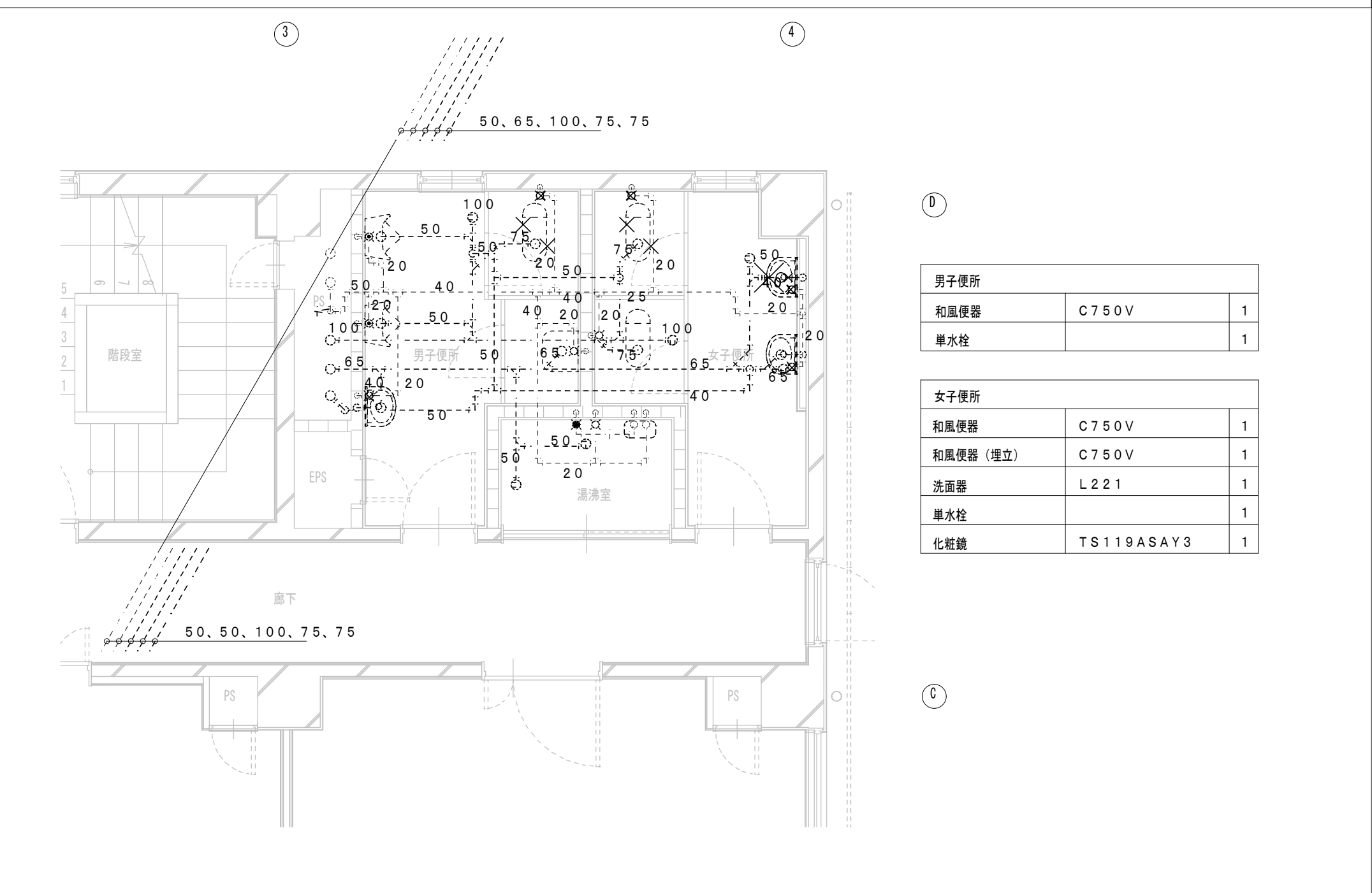




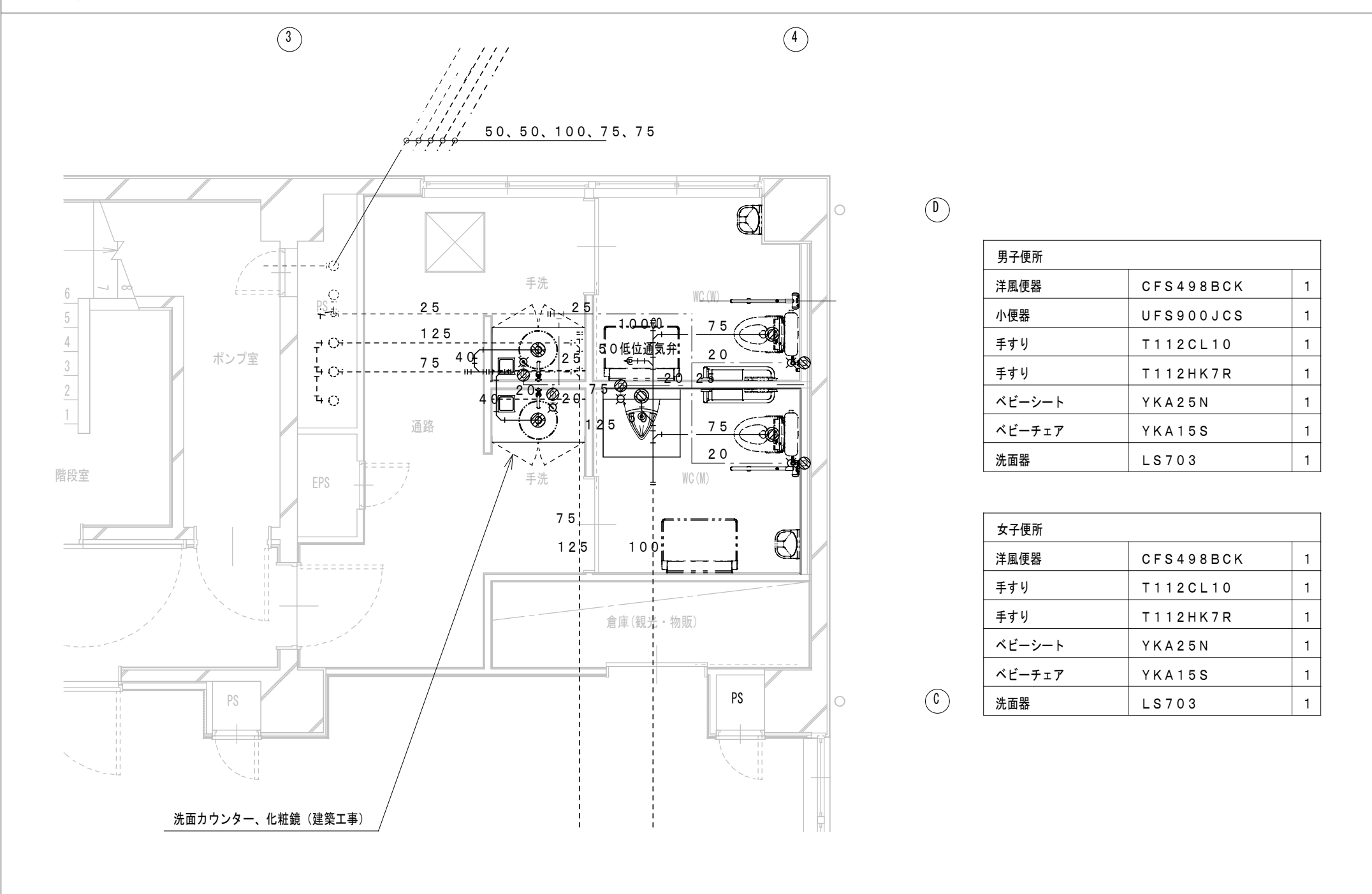
1階便所給排水設備図（改修前）



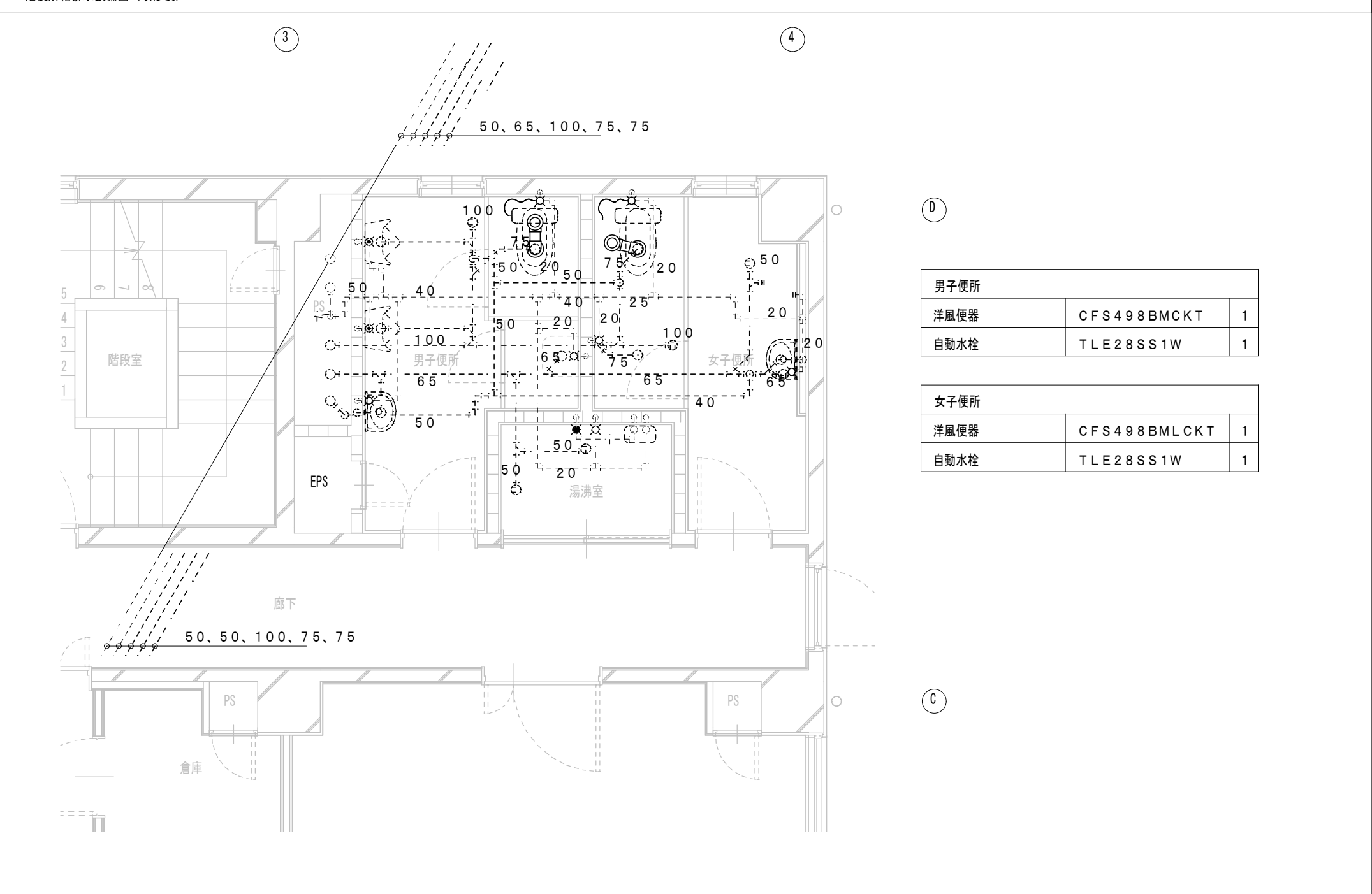
2階便所給排水設備図（改修前）



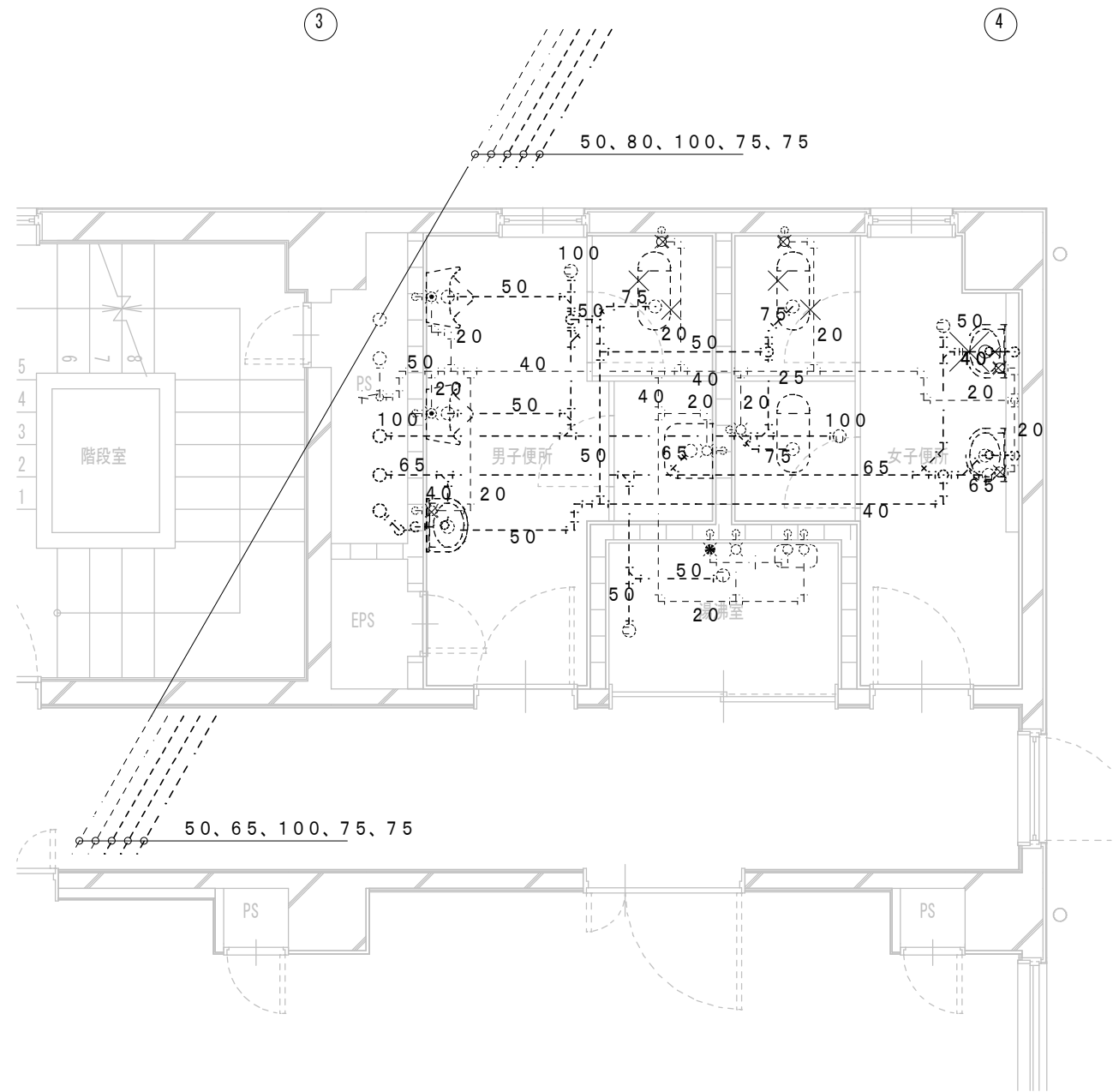
1階便所給排水設備図（改修後）



2階便所給排水設備図（改修後）



4階便所給排水設備図（改修前）



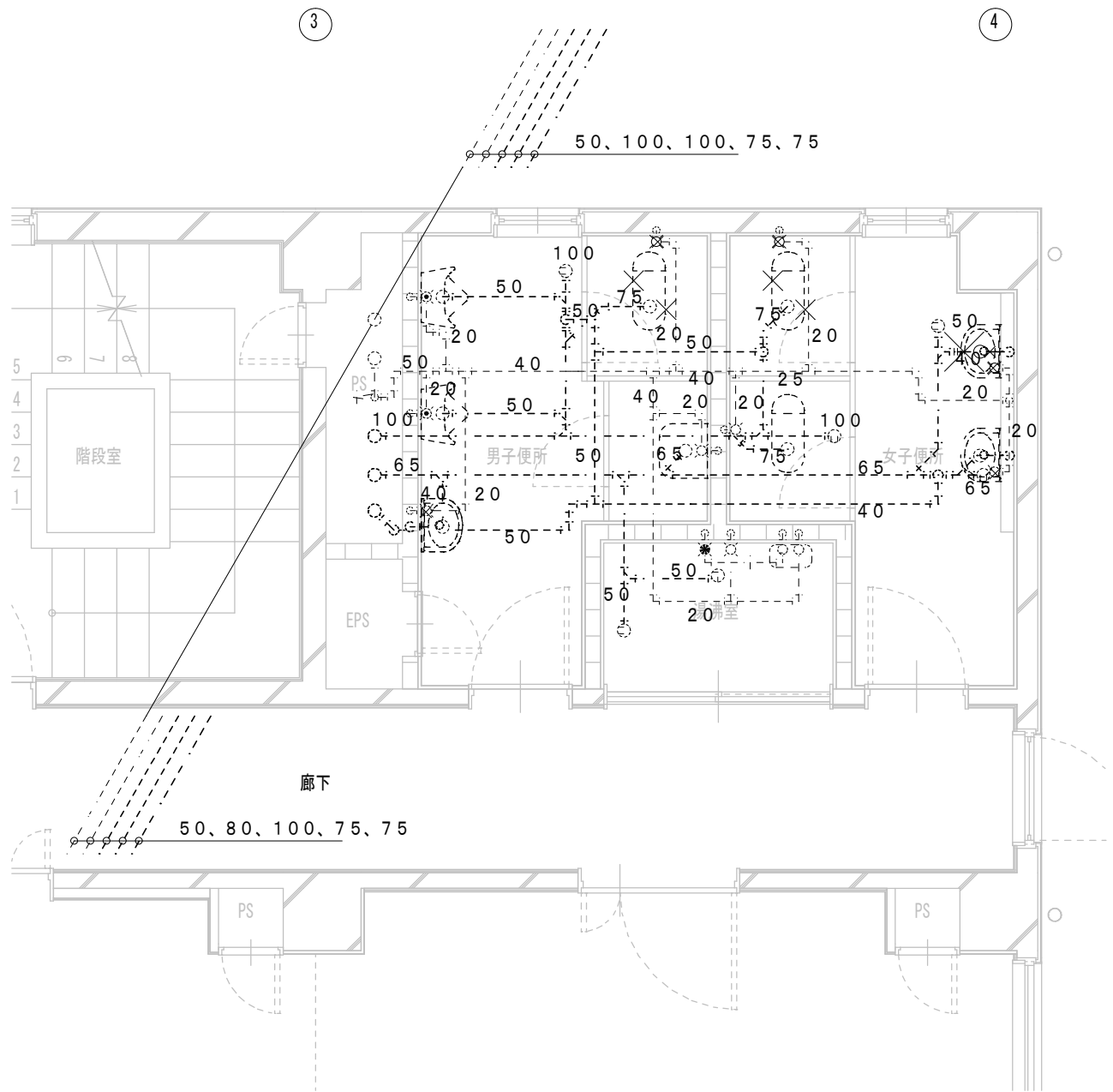
D

男子便所		
和風便器	C750V	1
単水栓		1

女子便所		
和風便器	C750V	1
和風便器（埋立）	C750V	1
洗面器	L221	1
単水栓		1
化粧鏡	TS119ASAY3	1

C

5階便所給排水設備図（改修前）



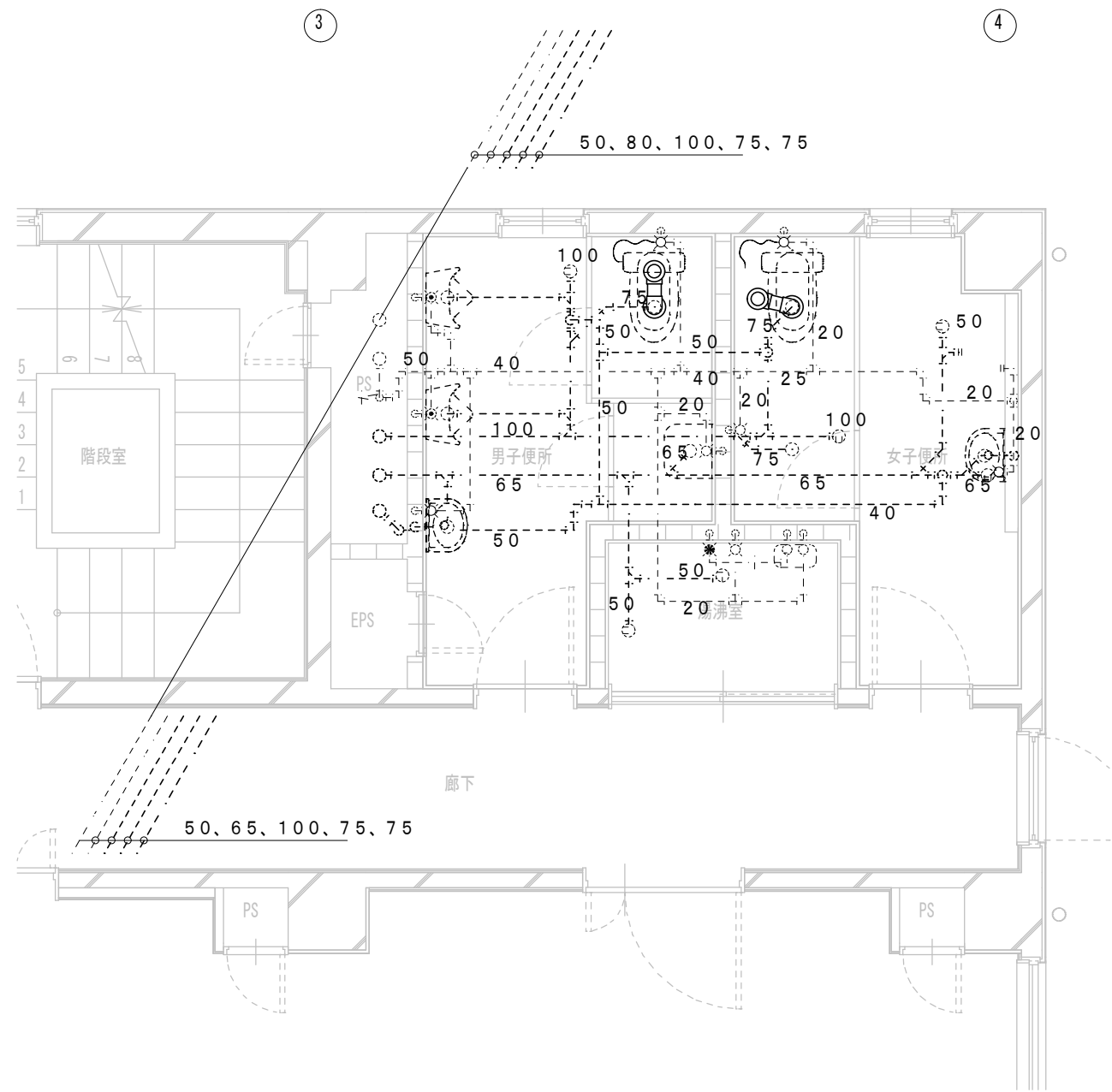
D

男子便所		
和風便器	C750V	1
単水栓		1

女子便所		
和風便器	C750V	1
和風便器（埋立）	C750V	1
洗面器	L221	1
単水栓		1
化粧鏡	TS119ASAY3	1

C

4階便所給排水設備図（改修後）



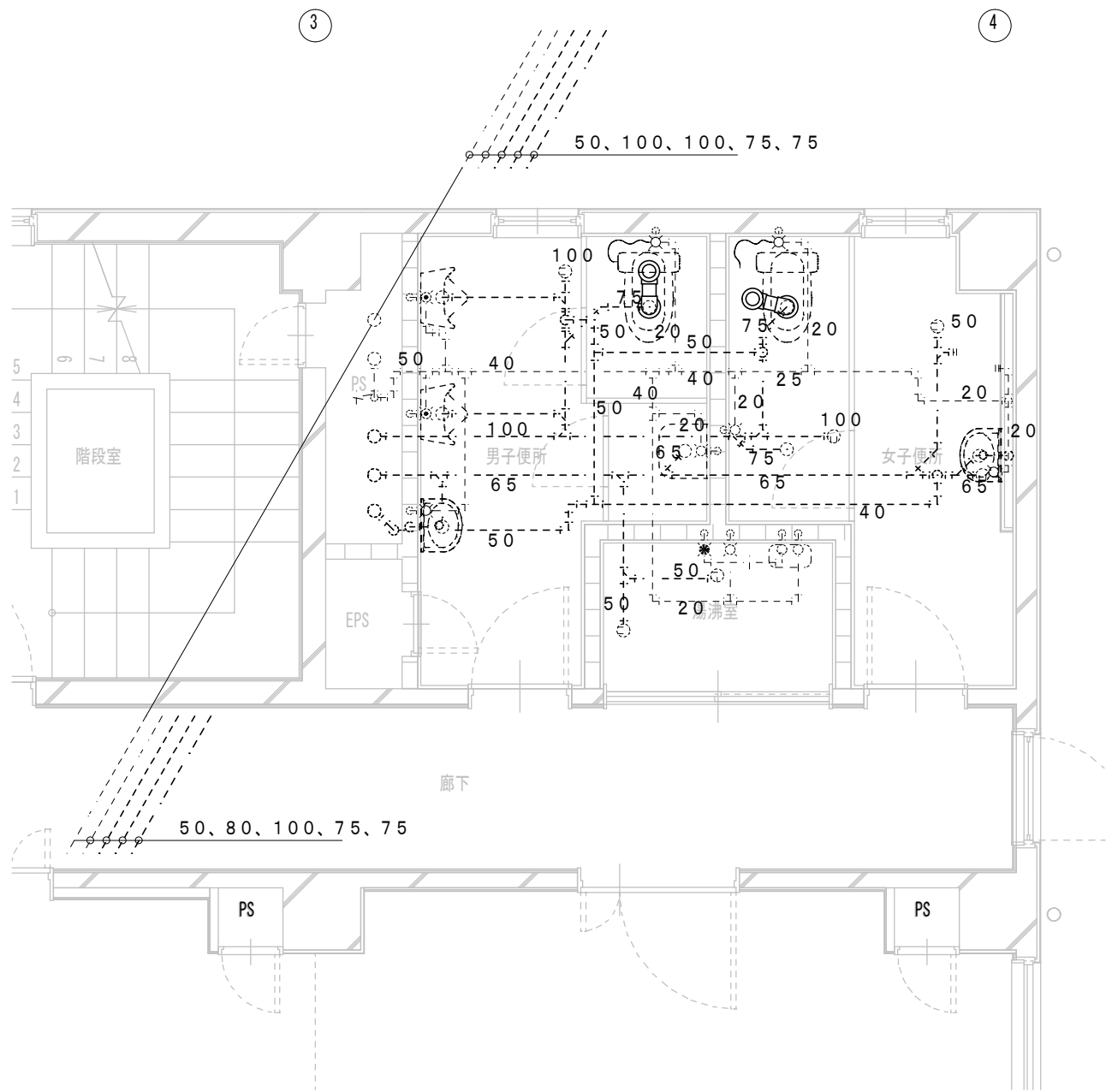
D

男子便所		
洋風便器	CFS498BMCKT	1
自動水栓	TLE28SS1W	1

女子便所		
洋風便器	CFS498BMLCKT	1
自動水栓	TLE28SS1W	1

C

5階便所給排水設備図（改修後）



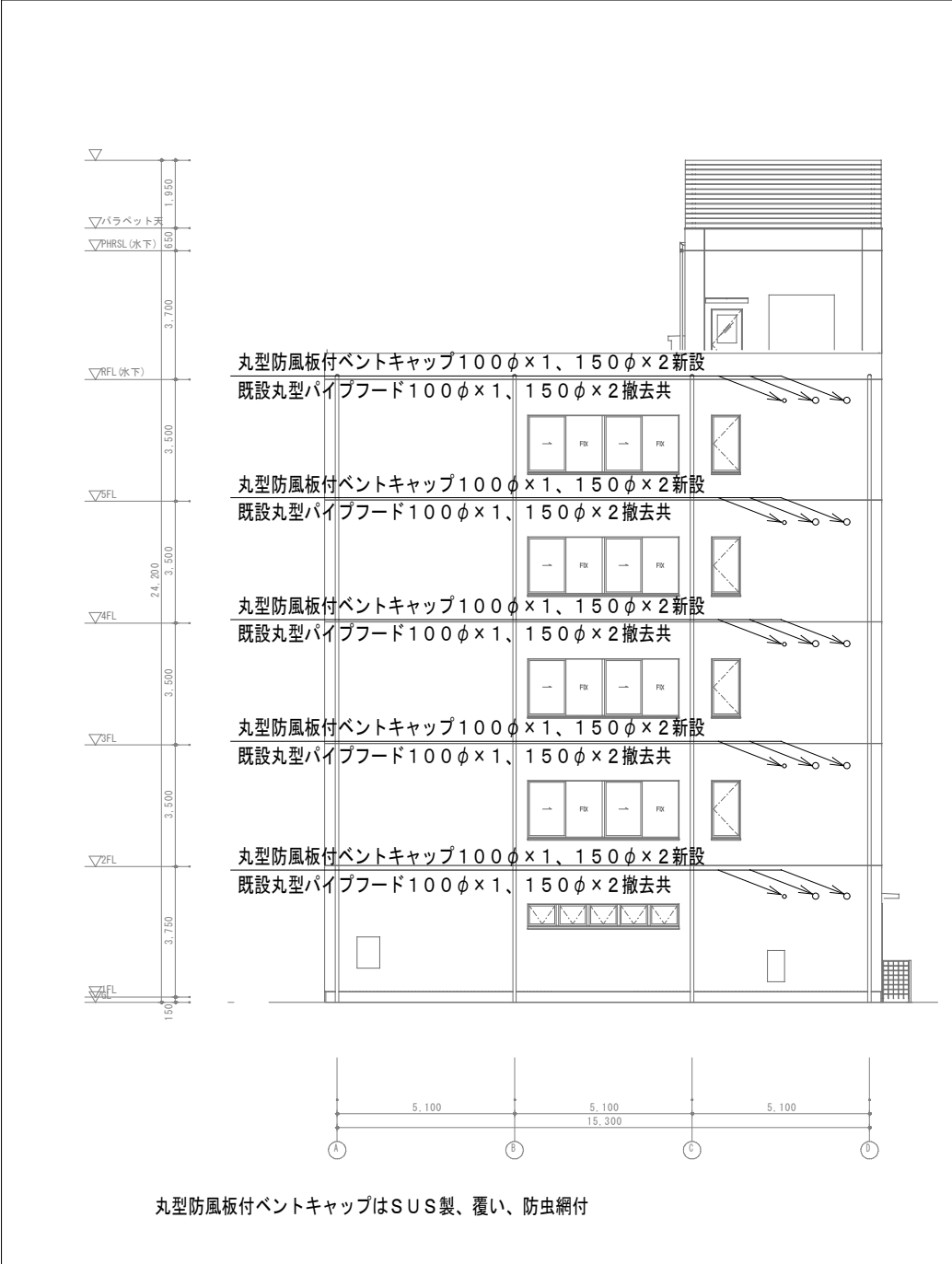
D

男子便所		
洋風便器	CFS498BMCKT	1
自動水栓	TLE28SS1W	1

女子便所		
洋風便器	CFS498BMLCKT	1
自動水栓	TLE28SS1W	1

C

換気設備 東立面図 (改修前・改修後)



丸型防風板付ペントキャップ100φ×1、150φ×2新設
既設丸型パイプフード100φ×1、150φ×2撤去共

丸型防風板付ペントキャップ100φ×1、150φ×2新設
既設丸型パイプフード100φ×1、150φ×2撤去共

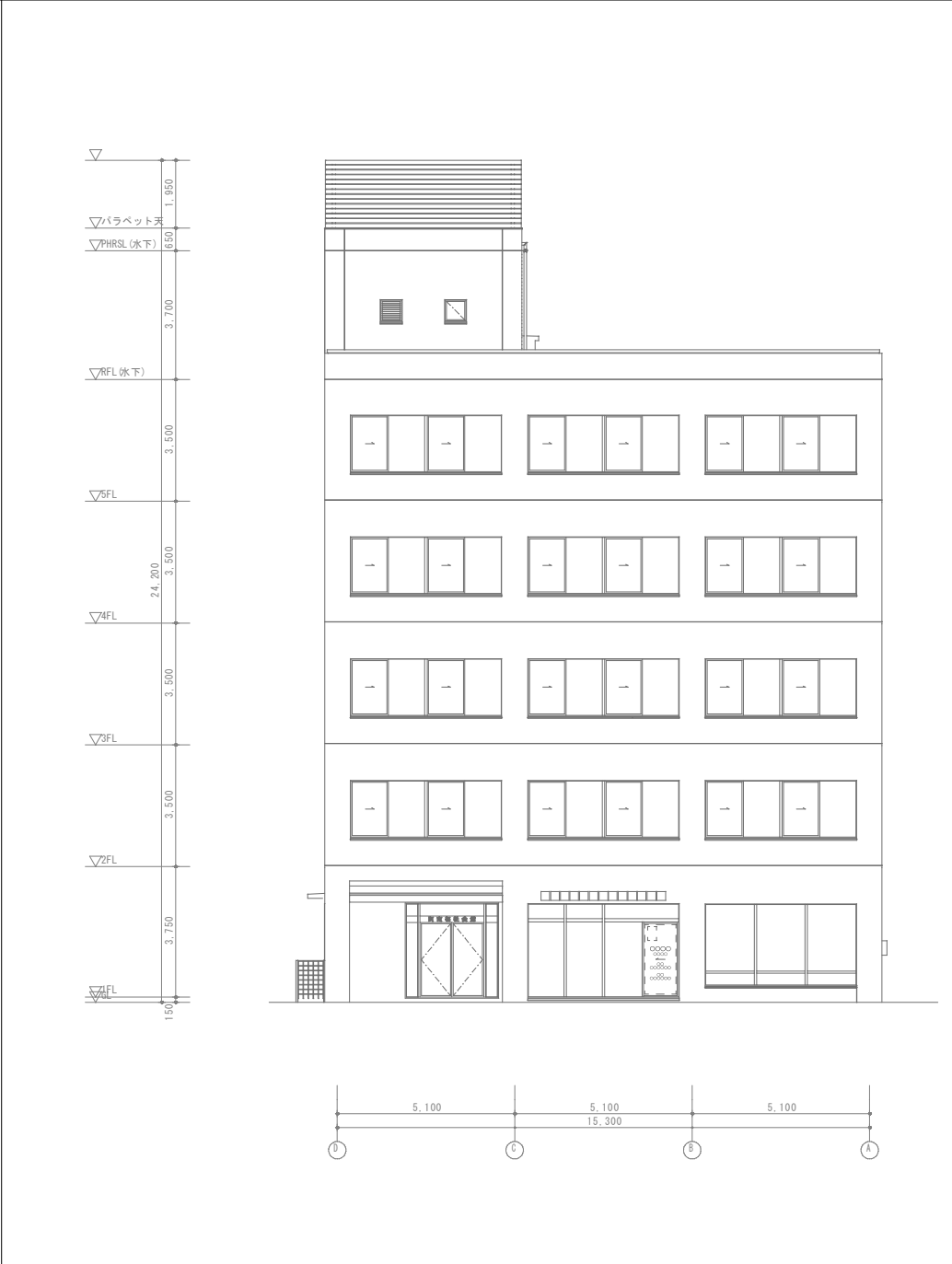
丸型防風板付ペントキャップ100φ×1、150φ×2新設
既設丸型パイプフード100φ×1、150φ×2撤去共

丸型防風板付ペントキャップ100φ×1、150φ×2新設
既設丸型パイプフード100φ×1、150φ×2撤去共

丸型防風板付ペントキャップ100φ×1、150φ×2新設
既設丸型パイプフード100φ×1、150φ×2撤去共

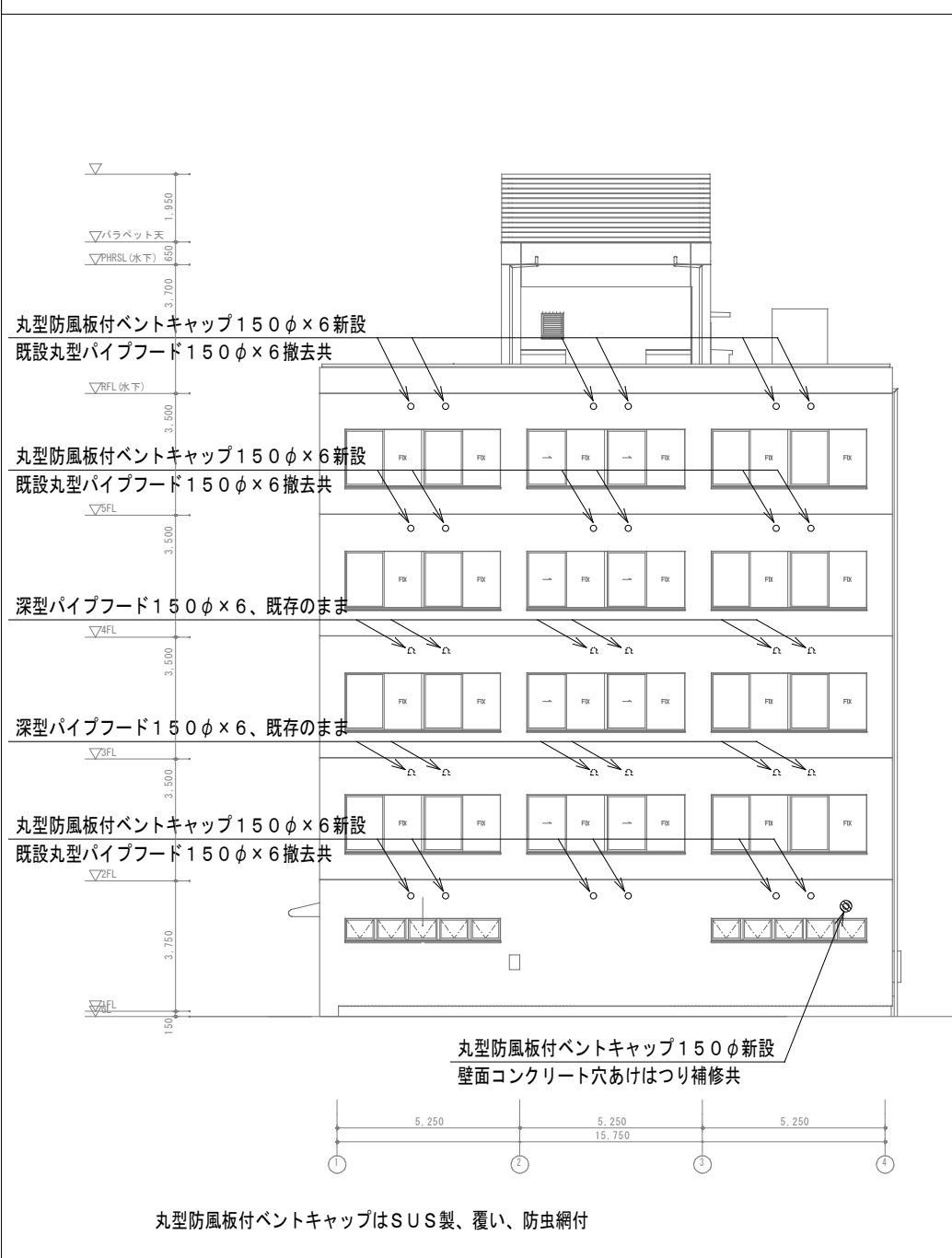
丸型防風板付ペントキャップはSUS製、覆い、防虫網付

換気設備 西立面図



丸型防風板付ペントキャップはSUS製、覆い、防虫網付

換気設備 南立面図 (改修前・改修後)



丸型防風板付ペントキャップ150φ×6新設
既設丸型パイプフード150φ×6撤去共

丸型防風板付ペントキャップ150φ×6新設
既設丸型パイプフード150φ×6撤去共

深型パイプフード150φ×6、既存のまま

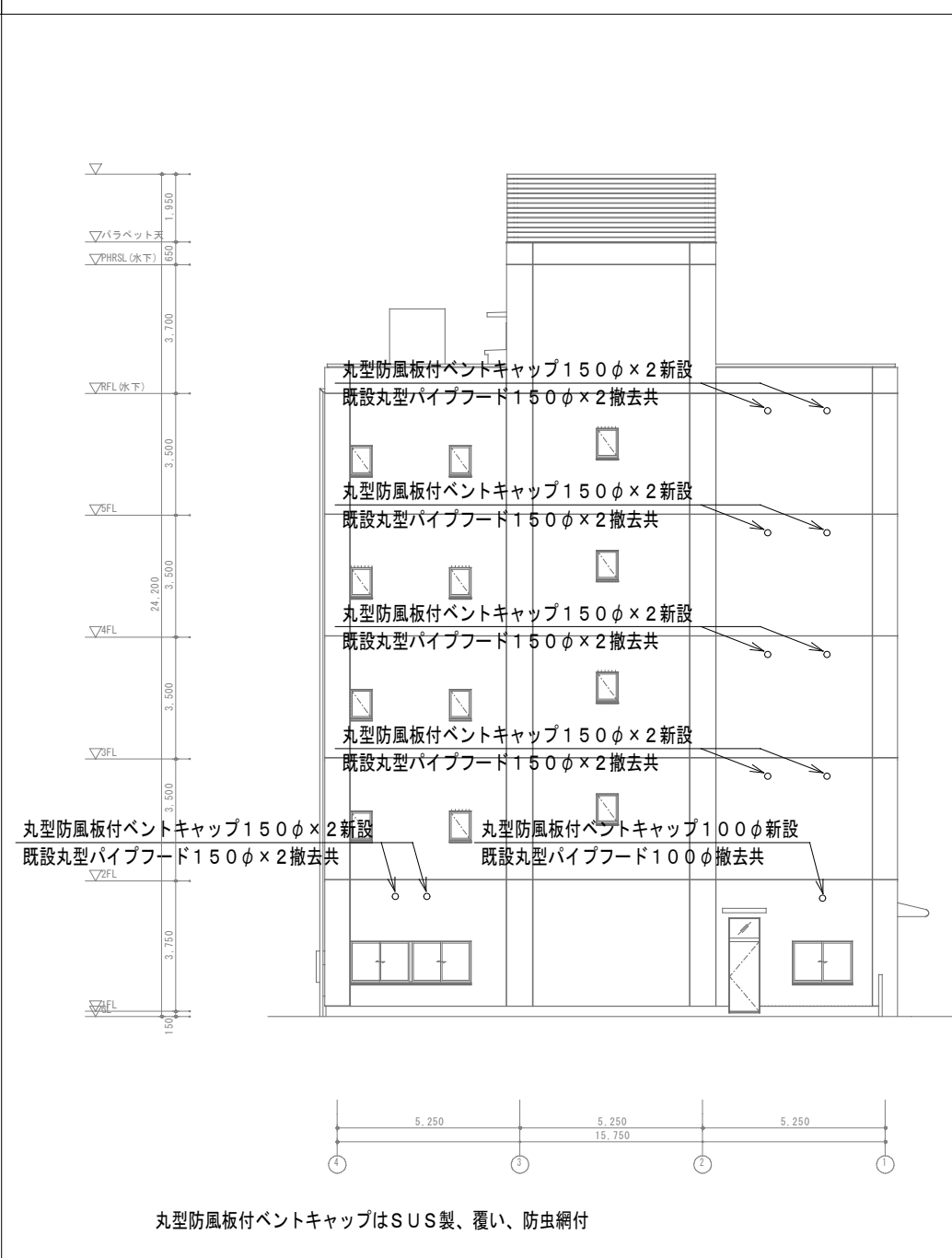
深型パイプフード150φ×6、既存のまま

丸型防風板付ペントキャップ150φ×6新設
既設丸型パイプフード150φ×6撤去共

丸型防風板付ペントキャップ150φ新設
壁面コンクリート穴あけはつり補修共

丸型防風板付ペントキャップはSUS製、覆い、防虫網付

換気設備 北立面図 (改修前・改修後)



丸型防風板付ペントキャップはSUS製、覆い、防虫網付

空調換気設備機器表 (改修前・改修後)

記号	機器名称	台数	機器仕様・付属品	電源	備考
AC 1	ヒートポンプ空調機 室内機 (既設)	4	天形埋込カセットツイン形、冷媒R410、位置変更含	1φ200V	屋上室外機、既存のまま
			冷房能力6.3kW、暖房能力7.0kW		
			送風機 室内0.05kW、付属品共、2台：室内機グリル取外し再取付けのみ		
			2台：取外し位置替え再取付け、本体清掃点検、配管、連絡線、既存取出し延長		
AC 2 1	ヒートポンプ空調機 室内機 (既設)	2	天形埋込カセットツイン形、冷媒R410	1φ200V	室内機、屋上室外機、既存のまま
			冷房能力5.0kW、暖房能力5.6kW		
			送風機 室内0.065kW、付属品共、室内機グリル取外し再取付けのみ		
AC 2 2	ヒートポンプ空調機 室内機 (既設)	2	天形埋込カセットツイン形	1φ200V	室内機、屋上室外機、既存のまま
			冷房能力5000kcal/h、暖房能力5500kcal/h		
			送風機 室内0.05kW、付属品共、室内機グリル取外し再取付けのみ		
AC 3	ヒートポンプ空調機 室内機 (既設)	1	天形埋込カセット形、冷媒R410、位置変更	1φ200V	室内機移設、屋上室外機、既存のまま
			冷房能力5.6kW、暖房能力6.3kW		
			送風機 室内0.05kW、付属品共		
			取外し位置替え再取付け、本体清掃点検、配管、連絡線、既存取出し延長		
AC 4	ヒートポンプ空調機 室内機 (既設)	1	天形埋込カセット形	1φ200V	屋上室外機、既存のまま
			冷房能力5000kcal/h、暖房能力5500kcal/h		
			送風機 室内0.05kW、付属品共、室内機グリル取外し再取付けのみ		
WM 1	天井埋込加湿器 (撤去)	5	天井埋込カセット形、埋込リモコンスイッチ	1φ100V	
			加質量1.54kg/h、送風機74W、付属品共		
			給水20φ、ドレン25φ		
HEX 1	熱交換式換気扇 (既設)	2	天井埋込カセット形、埋込リモコンスイッチ	1φ100V	
			風量150m3/h、消費電力106W		
			不織布フィルター、付属品共		
			1台：天井グリル取外し再取付けのみ 1台：撤去		
HEX 2	熱交換式換気扇 (既設)	5	低騒音天吊埋込形、埋込リモコンスイッチ	1φ100V	
			風量250m3/h、消費電力101W		
			不織布フィルター、付属品共、吸込グリル取外し再取付け		
			2台：ダクト150φ切りはなし再接続、リモコン移設、2台：既存のまま、1台：撤去		
EF 1	天井埋込換気扇 (新設)	2	天井埋込形、金属グリル付、grisフィルター内臓	1φ100V	VD-23ZPI4 (三菱電機) 相当品
			風量490m3/h、消費電力88W		ステンレスフード天板開口部取付け
			天吊金具、フレキシブルダクト150φ、付属品共		
			既設ダクト150φ接続		
EF 2	天井埋込換気扇 (新設)	1	天井埋込形、金属グリル付、grisフィルター内臓	1φ100V	VD-18ZPI4 (三菱電機) 相当品
			風量315m3/h、消費電力40W		
			天吊金具、フレキシブルダクト150φ、丸型FD、付属品共		
EF 3	天井埋込換気扇 (新設)	2	天井埋込形、十字格子グリル、電気シャッター付	1φ100V	VD-15ZCDI4 (三菱電機) 相当品
			風量135m3/h、消費電力16.5W		
			天吊金具、フレキシブルダクト150φ、付属品共		
			既設ダクト150φ接続		
EF 4	天井埋込換気扇 (既設)	1	天井埋込形	1φ100V	
			風量95m3/h、消費電力9.3W		
			フレキシブルダクト100φ、付属品共		
			既設ダクト100φ接続、本体清掃点検、取外し、再取付け		

換気設備立面図

機器表 (改修前・改修後)

134-1 H gashi shi nnachi, Tonikacho, Anan-shi, Tokushi na-ken 774-0030, Japan TEL.: +81-884-24-6881

一級建築士 第32678号 廣瀬諭志 ARCHITECT REGISTRATION NUMBER

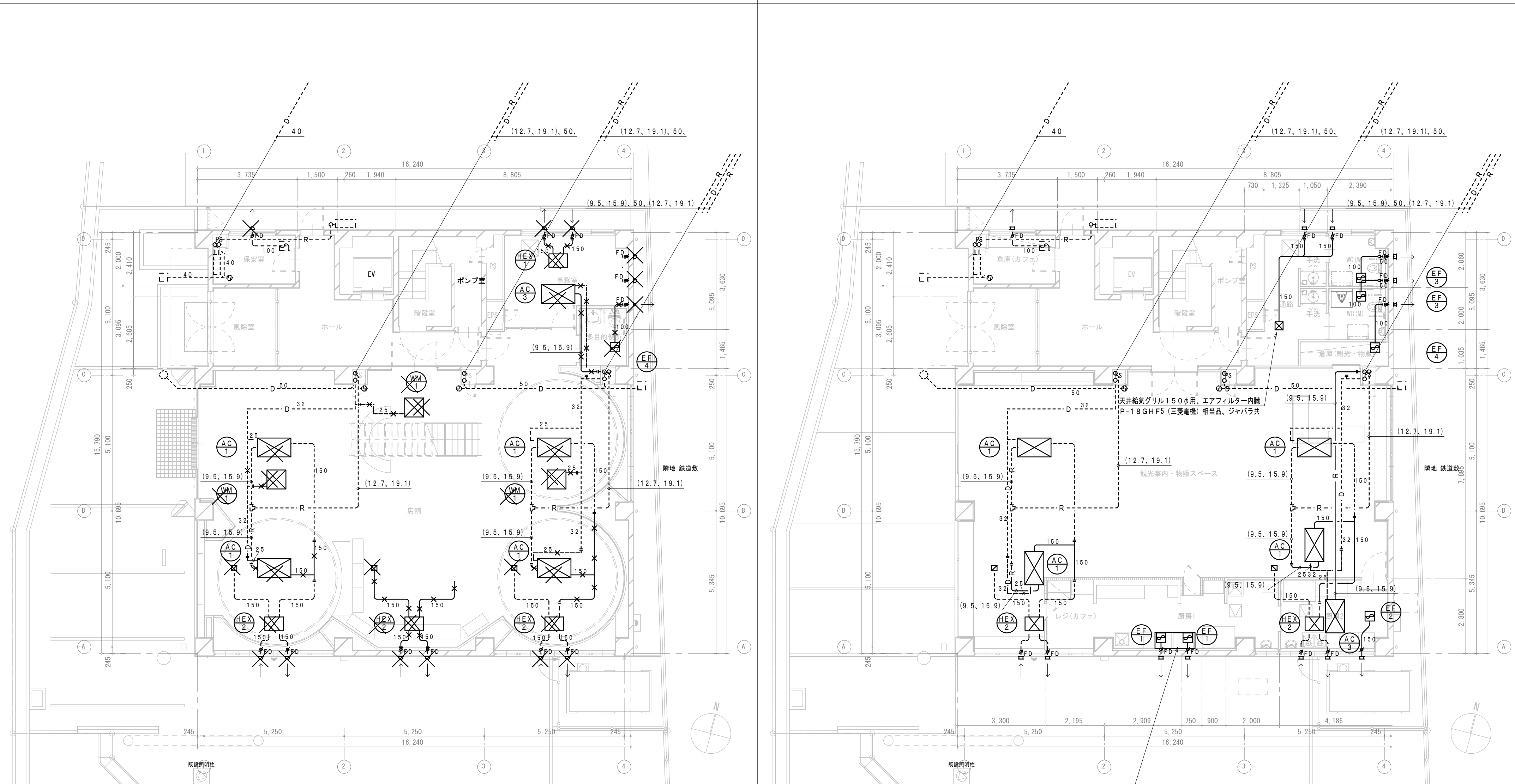
APPROVED DRAWN DATE PROJECT

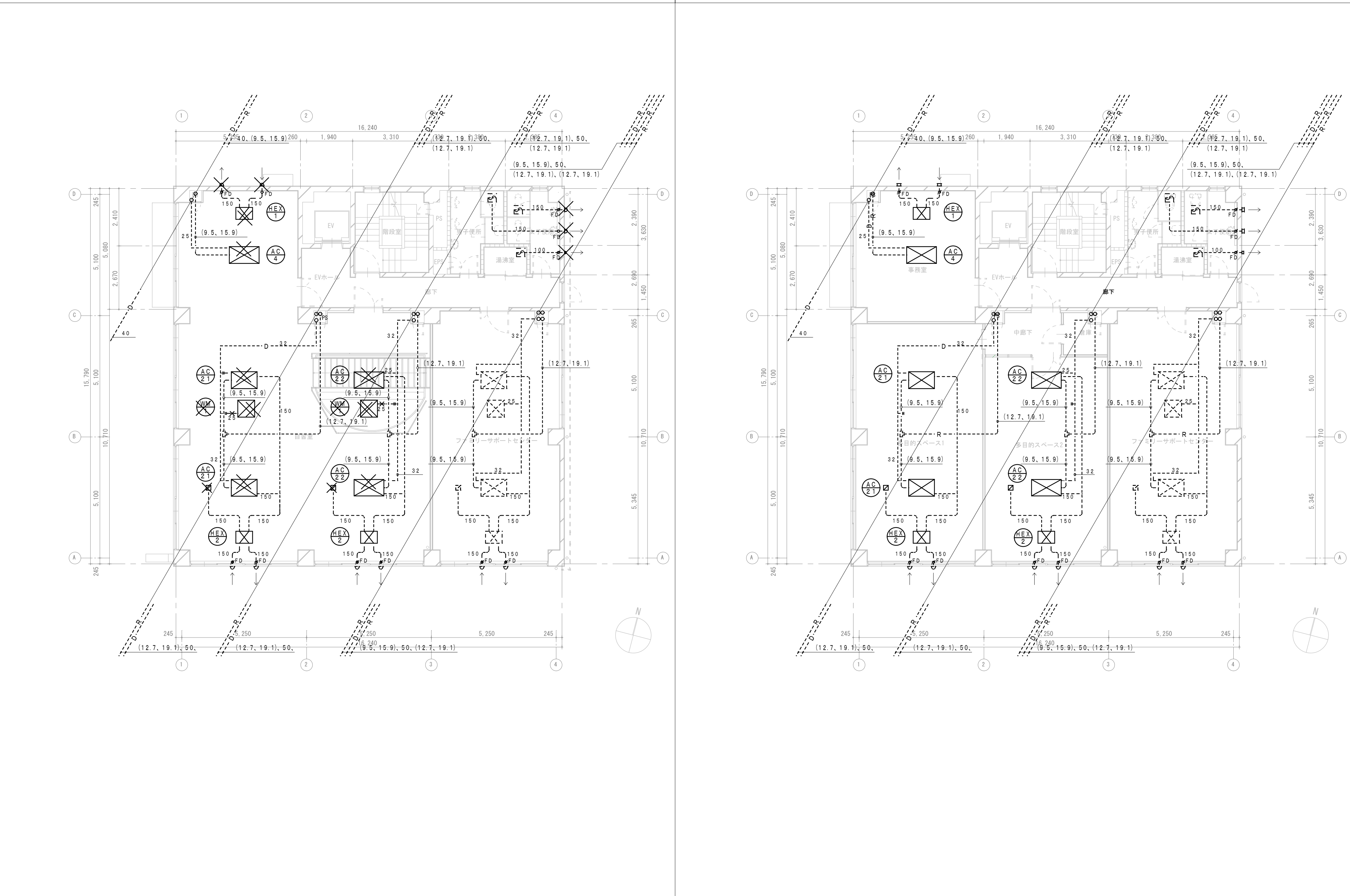
阿南社会福祉会館改修工事のうち 管工事

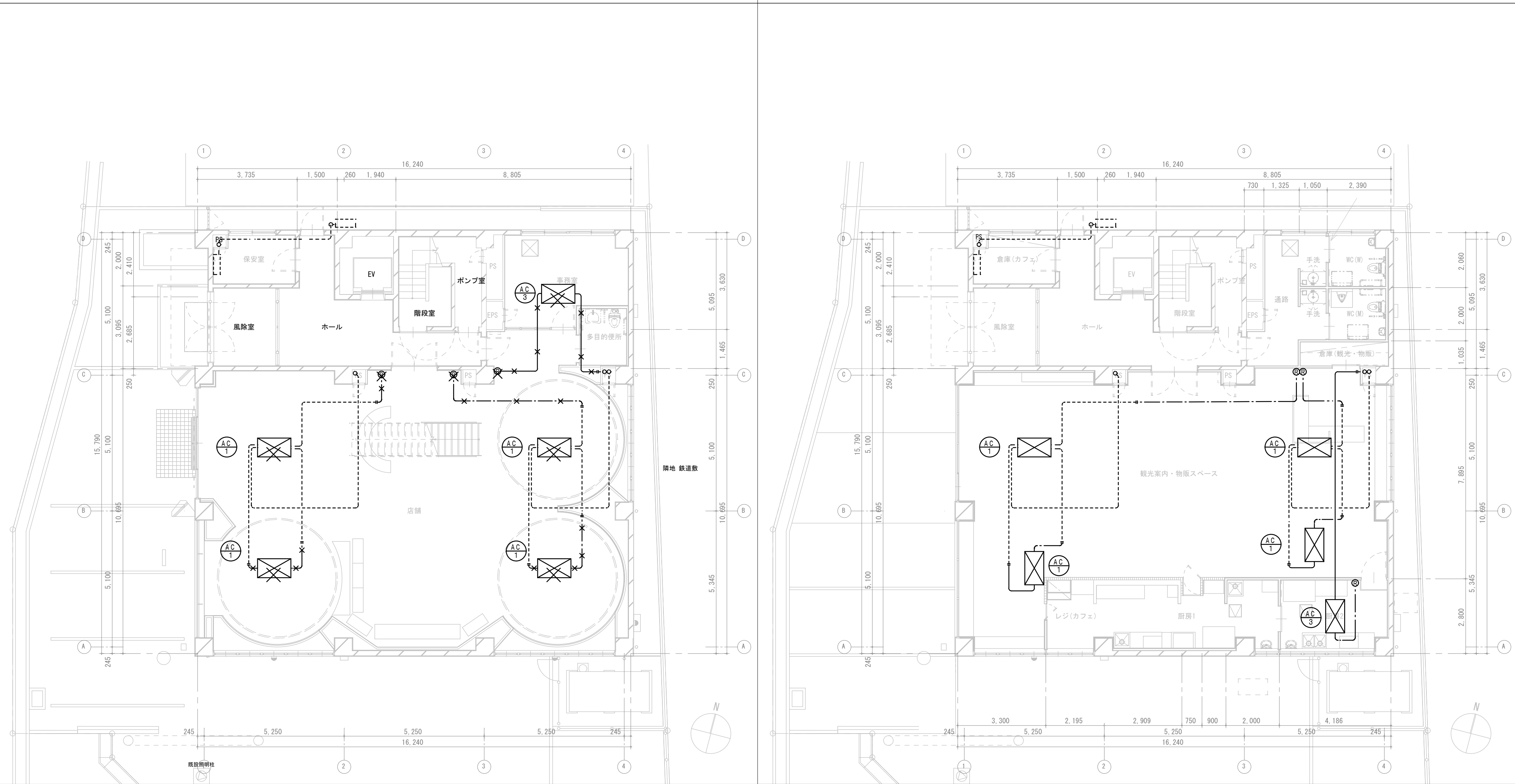
換気設備立面図 機器表 (改修前・改修後)

NON SALE

M 13







注記

—×—×— 空調機連絡線：EM-EEF1.6-3C、E1.6

---×---×--- 空調機リモコン線：VCTF0.75-2C、壁内（PF16）入線

----- 既設線

注記

—×—×— 空調機連絡線：EM-EEF1.6-3C、E1.6

---×---×--- 空調機リモコン線：VCTF0.75-2C、壁内（PF16）入線

----- 既設線

